

もりおかみなみ  
国道4号 盛岡南道路  
計画段階評価  
第2回 説明資料

資料3

目次

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・ 1
2. 地域の意見聴取（第1回）結果の確認	・ ・ ・ 5
住民等への意見聴取結果	・ ・ ・ 10
事業者への意見聴取結果	・ ・ ・ 17
関係団体ヒアリングの結果	・ ・ ・ 22
地域の意見聴取（第1回）の結果のとりまとめ	・ ・ ・ 24
意見聴取を踏まえた課題の再整理	・ ・ ・ 27
3. 政策目標の設定	・ ・ ・ 34
4. 対応方針（ルート帯案）の検討	・ ・ ・ 36
5. 地域の意見聴取（第2回）の方法	・ ・ ・ 44

令和元年9月30日

国土交通省 東北地方整備局

# 1. 計画段階評価の検討の流れ

- ◆対象区間の周辺では、岩手流通センターや盛岡貨物ターミナル、盛岡中央卸売市場が立地し物流拠点が形成される。
- ◆今年度に高度救命救急センターが矢巾町に開院した外、新産業等用地整備など周辺開発も進んでいる。
- ◆一方で対象区間は信号交差点が連続し、うち3交差点が主要渋滞箇所挙げられる等の交通問題を抱える区間である。



# 1-2. 前回(第1回)審議内容

## ■第21回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：平成30年9月12日（水）開催

主な議事：①地域の状況と課題

②道路交通の状況と課題

③政策目標（案）の設定

④地域からの意見聴取（第1回）の方法

### ●前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<b>【地域の現状と課題】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的な人口減少や交通需要など地域の将来像を踏まえたうえで、盛岡市・矢巾町の都市計画や地域の広域な将来道路ネットワークにおいて、対象区間がどのように位置づけられるかを整理すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画マスタープランにおける対象区間の位置づけを踏まえ、第1回資料_盛岡広域都市圏の人口と将来像を修正 【第1回_4ページ参照】</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸沿岸道路とのネットワークとしての接続性や物流拠点としての役割などを示すことで、この道路の必要性がより明確になるのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸沿岸道道などのネットワーク整備による物流拠点へのアクセス性や関連性などを第1回資料_物流・産業を修正 【第1回_7ページ参照】</li> </ul>
<b>【道路交通の状況と課題】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>主)盛岡和賀線の近年の交通量の増加については、盛岡西バイパス開通の影響を含めて、わかりやすく資料化したほうがよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡西バイパス、(主)盛岡和賀線などの周辺道路の整備状況を踏まえ、第1回資料_周辺道路の交通状況を修正 【第1回_11ページ参照】</li> </ul>
<b>【意見聴取に関して】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民のアンケートの対象地域が盛岡の南側と矢巾町だが、紫波町についても盛岡との関係が強く、南の改良が進めばより盛岡との関係が強まると思われるので、紫波町まで入れる必要はないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民用アンケートの対象地域に紫波町を追加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の「利用状況」と「利用頻度」の聞く順番が、利用頻度の低い方がいることを想定すると、「利用頻度」から聞いたほうがよい。</li> <li>アンケートの自由意見欄が狭い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート設問の順番、レイアウトを修正</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「盛岡南地区」という表記が、住民の方に盛岡駅の南側を想像させ、矢巾方面の印象を感じないように思うが、工夫してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間において、渋滞や交通事故などの課題が特に多い地域が盛岡市の南側にあたる事から、今回の対象区間の呼称を「盛岡南地区」とさせて頂いております。</li> </ul>

# 1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

## ■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民、事業者、道路利用者の方々のご意見をいただきながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



地方小委員会

## **2. 地域の意見聴取(第1回)結果の確認**

## 2-1. 地域の意見聴取(第1回)の実施内容

◆地域の意見聴取(第1回)は、地域住民・事業者・道路利用者へのアンケート調査、および関係団体へのヒアリング調査を実施。

### 1. 意見聴取期間

平成30年11月26日(月)～平成31年1月28日(月)

### 2. 意見聴取の対象

・アンケートによる意見聴取

調査対象	対象地域	調査手法	規模
地域住民	盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町	盛岡市(盛岡駅以南地区) : 郵送配布・郵送回収 矢巾町・紫波町 : 広報誌添付による配布・郵送回収	85,859部 (全戸配布)
道路利用者	盛岡広域圏※1	留置アンケート※2 (県庁、市役所、役場、道の駅に配置)	(20箇所)
		Webアンケート(岩手河川国道HP)	—
事業者	盛岡市、矢巾町、紫波町の事業所、花巻市、北上市、金ヶ崎町の国道4号沿線の自動車関連企業	郵送配布・郵送回収	524事業所

※1: 盛岡広域圏: 盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町・紫波町・矢巾町

※2: 留置アンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・投函ボックスを常設した、  
 国道事務所: 岩手河川国道事務所 県庁: 岩手県本庁舎  
 市役所: 盛岡市役所(2支所含む)、八幡平市役所(3支所含む)、滝沢市役所  
 役場: 雫石町役場、葛巻町役場、岩手町役場、紫波町役場、矢巾町役場  
 道の駅: にしね、雫石あねっこ、石神の丘、くずまき高原、紫波

・ヒアリング調査の対象

項目		
関係団体 (計19事業所)	○自治体【8自治体】	○観光協会【2団体】
	○バス協会【1団体】	○警察機関【2団体】
	○経済団体【2団体】	○トラック協会【1団体】
	○農業協同組合【1団体】	○消防機関【1団体】
	○医療機関【1機関】	

【図1】アンケート調査票の配布範囲



【凡例】

- アンケート配布地域(地域住民): 盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町
- アンケート配布地域(事業者等): 盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町、花巻市、北上市、金ヶ崎町
- 留置アンケート実施地域: 岩手県・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町

## 2-2. 地域の意見聴取(第1回)のアンケート回収状況

- ◆地域住民へのアンケートは、盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町の85,859世帯を対象に全戸配布した他、WEBアンケート、留置アンケートを実施した。回収数は16,275票となった。
- ◆事業者へのアンケートは、盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町の事業所および花巻市、北上市、金ケ崎町の自動車関連企業の524事業所を対象に配布した。回収数は216票となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

調査対象	対象地域	調査手法	調査票形式	配布回収数	
				配布数	回収数
地域住民	盛岡市(盛岡駅以南地区)、 矢巾町、紫波町	盛岡市(盛岡駅以南地区) : 郵送配布・郵送回収 矢巾町・紫波町 : 広報誌添付による配布・郵送回収	住民用 アンケート	85,859	15,265
道路利用者	盛岡広域圏※1	留置アンケート※2 (県庁、市役所、役場、道の駅に配置)		-	412
		Webアンケート (岩手河川国道HP)		-	598
住民アンケート合計				-	16,275
事業者	盛岡市、矢巾町、紫波町の事業所、花巻市、北上市、金ケ崎町の国道4号沿線の自動車関連企業	郵送配布・郵送回収	事業者用アンケート	524	216
事業者アンケート合計				524	216

※1: 盛岡広域圏: 盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町・紫波町・矢巾町

※2: 留置アンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・投函ボックスを常設しており、その場で回答頂いた場合と持ち帰った場合があり、後者は郵送回収数に含まれる

国道事務所: 岩手河川国道事務所 県庁: 岩手県本庁舎  
市役所: 盛岡市役所(2支所含む)、八幡平市役所(3支所含む)、滝沢市役所  
役場: 雫石町役場、葛巻町役場、岩手町役場、紫波町役場、矢巾町役場  
道の駅: にしね、雫石あねっこ、石神の丘、くずまき高原、紫波

# 2-3. 地域の意見聴取(第1回)の実施状況(アンケート調査)

◆地域住民・事業者・道路利用者に対して、地域が抱える課題について、アンケート調査を実施。

【表1】地域意見聴取内容

- 回答者属性 (年齢、職業、性別、住所)
- 問1 国道4号(盛岡南地区)の利用頻度について
- 問2 国道4号(盛岡南地区)の利用状況について
- 問3 地域課題について
- 問4 その他意見・要望

【図3】新聞広告(12/22掲載・岩手日報(朝刊))

【図1】配布形式調査票

■ 広報誌への掲載

【図4】自治体HP掲載状況

【図5】アンケート留置き状況



【図2】Webアンケート

紫波町広報誌 (紫波ネット12月号)

盛岡市HP

矢巾町HP

矢巾町役場



道の駅 石神の丘

◆沿線自治体等の関係団体に対して、地域が抱える課題について、ヒアリング調査を実施。

【表1】ヒアリングによる聴取内容

- 問1 国道4号(盛岡南地区)の利用状況について
- 問2 地域課題について
- 問3 その他意見・要望

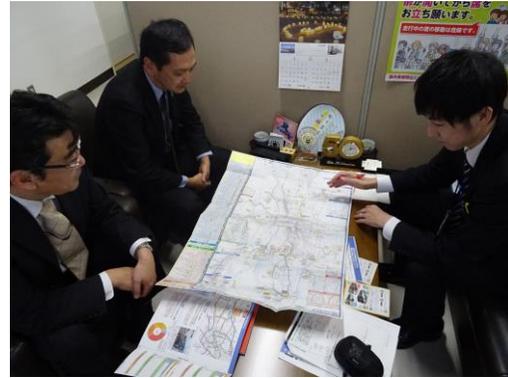
【表2】ヒアリング調査の対象

区分	箇所数	機関名	部署
自治体	8	盛岡市	建設部道路建設課
		矢巾町	道路都市課
		紫波町	土木課建設企画室
		八幡平市	建設課土木係
		滝沢市	都市整備部道路課
		岩手町	地域整備課都市計画係
		雫石町	地域整備課
		葛巻町	建設水道課地域整備係
観光協会	2	公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会	
		矢巾町観光協会	
バス協会	1	公益社団法人 岩手県バス協会	
警察機関	2	盛岡東警察署	
		紫波警察署	
経済団体	2	盛岡商工会議所	
		矢巾町商工会	
トラック協会	1	公益社団法人 岩手県トラック協会	
農業協同組合	1	JAいわて中央	
消防機関	1	盛岡地区広域消防組合	
医療機関	1	岩手医科大学附属病院	
合計		19事業所	

【図1】岩手医科大学附属病院



【図2】岩手県バス協会



【図3】矢巾町役場・矢巾町観光協会



【図4】盛岡市役所



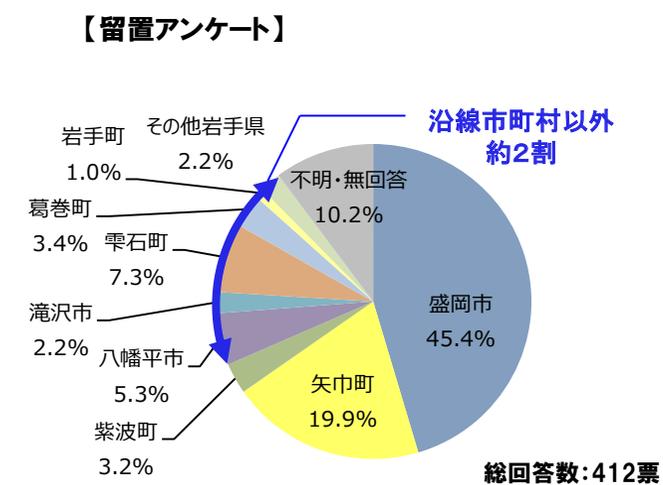
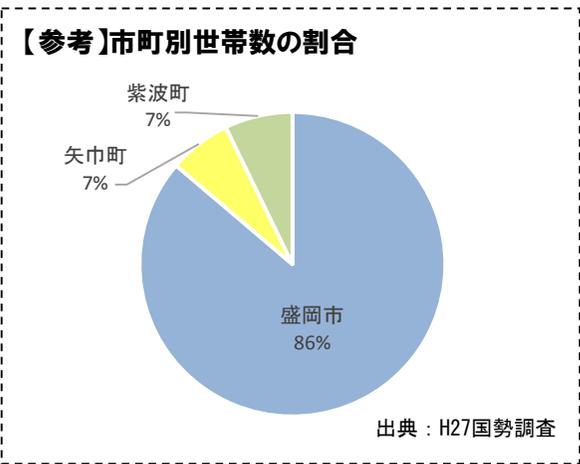
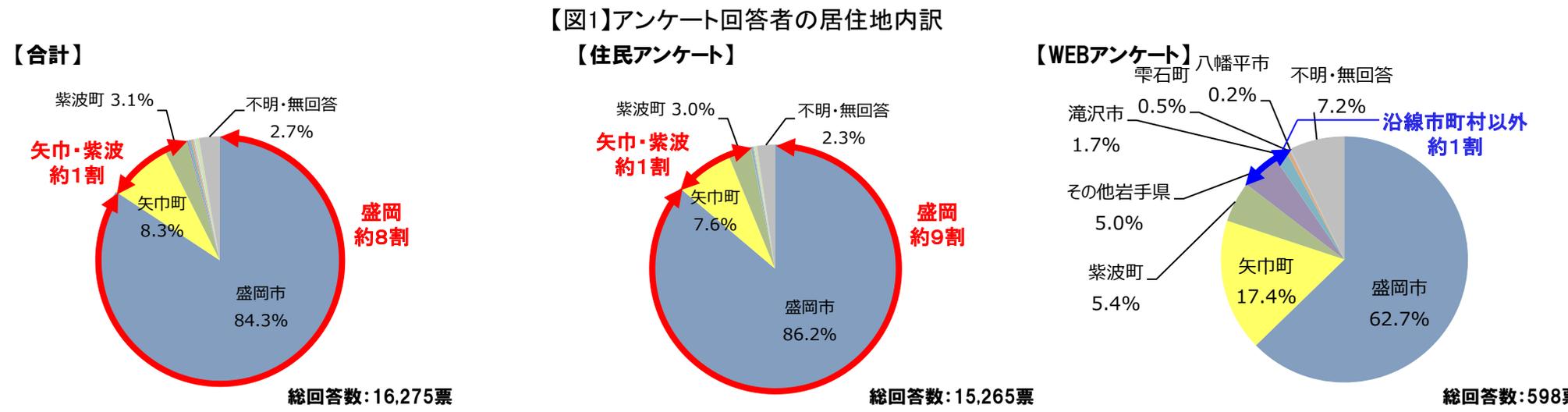
## **2. 地域の意見聴取(第1回)結果の確認**

### **住民等への意見聴取結果**

# 2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

- ◆回答者の地域区分の割合は、盛岡市が約8割、矢巾町・紫波町が約1割を占め、対象1市2町の世帯数の割合と概ね一致しており偏りなく回答を得ることができた。
- ◆留置アンケート、WEBアンケートでは盛岡市、矢巾町、紫波町以外の回答者が約1～2割を占めるなど、広域的に意見を得ることができた。

質問 あなたについてお聞かせください。(住所)



【表1】沿線市町村以外の回答数

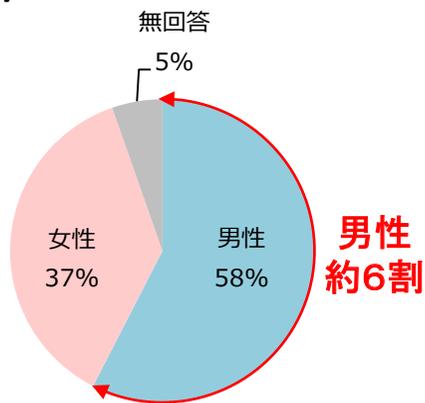
	回答数			合計
	郵送	留置	WEB	
盛岡市	13161	187	375	13723
矢巾町	1161	82	104	1347
紫波町	463	13	32	508
八幡平市	7	22	1	30
滝沢市	38	9	10	57
雫石町	13	30	3	46
葛巻町	17	14	0	31
岩手町	2	4	0	6
その他岩手県	52	9	30	91
岩手県外	0	0	0	0
不明・無回答	351	42	43	436
合計	15265	412	598	16275

## 2-4. 住民等への意見聴取の結果(属性)

- ◆性別は男性が約6割、年齢構成は40～60代が約6割を占め、両町の統計データと比べ高い。
- ◆職業の聞き取りでは、就業者の回答割合が約6割を占め、盛岡・紫波・矢巾の就業率とほぼ同程度。

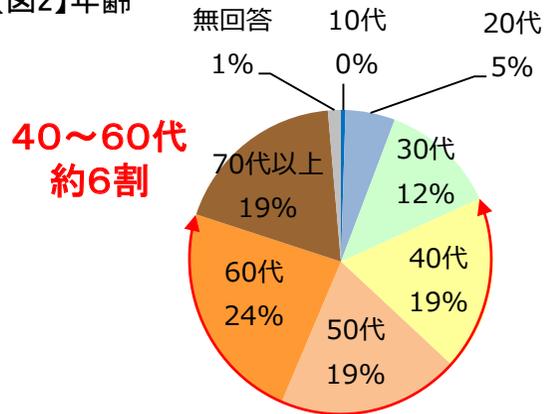
質問 あなたについてお聞かせください。(性別、年齢、職業)

【図1】性別



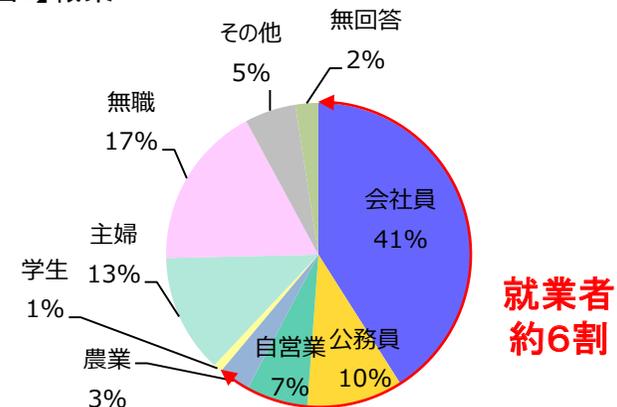
総回答数:16,275票

【図2】年齢



総回答数:16,275票

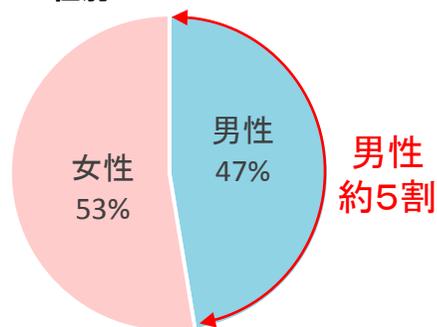
【図3】職業



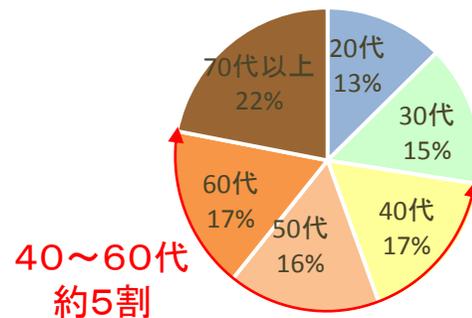
総回答数:16,275票

【図4】盛岡市・矢巾町・紫波町の統計データ

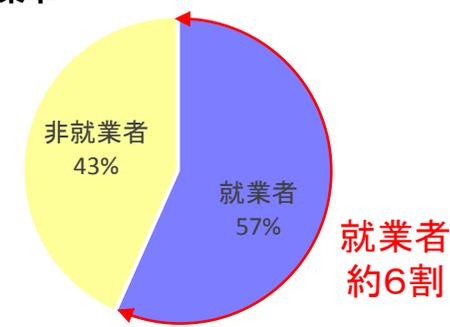
・性別



・年齢(20歳以上の内訳)



・就業率



※就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

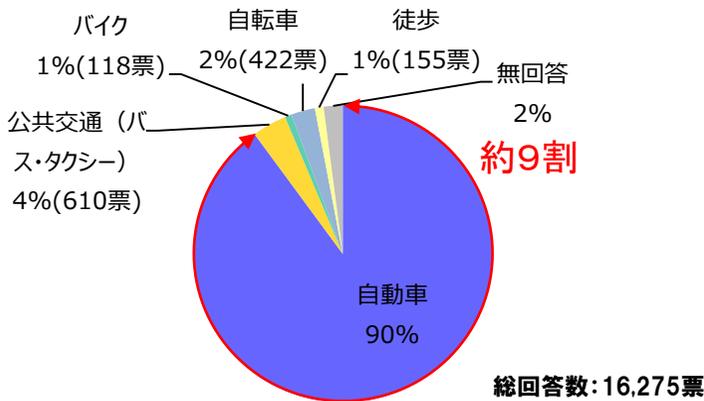
出典: H27国勢調査

# 2-4. 住民等への意見聴取の結果(道路利用)

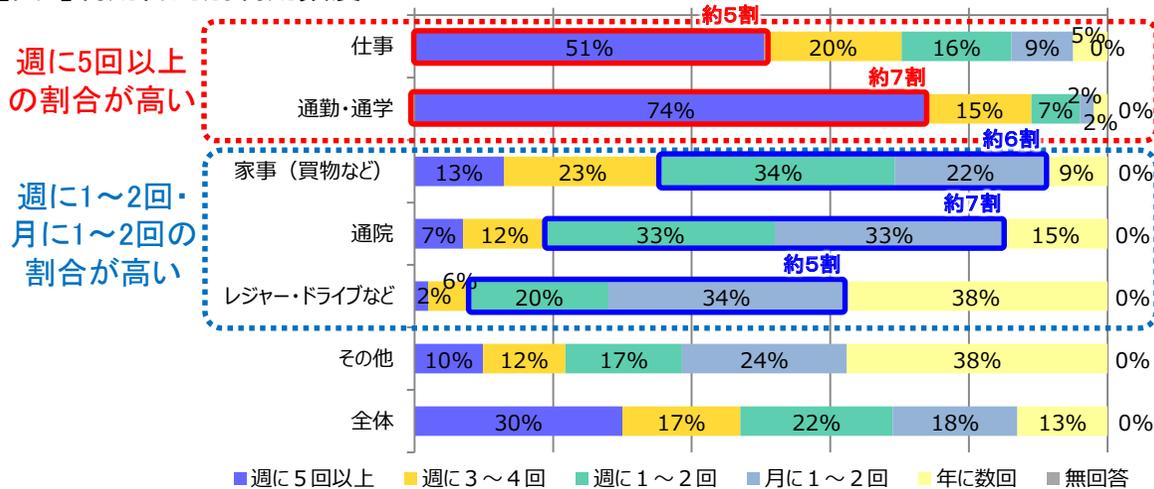
- ◆利用手段は「自動車」が約9割を占めるが、「自動車以外(公共交通、バイク、自転車、徒歩)」からも回答を得られた。
- ◆利用目的は日常的な利用目的が約4割を占め、利用頻度は週3回以上の利用が約5割を占める。
- ◆利用目的別の利用頻度を確認すると、「仕事」や「通勤・通学」は週5回以上の割合が5割を超え、「家事」「通院」「レジャー・ドライブなど」は月1回～週2回の利用が5割を占める。
- ◆地域別の利用頻度で見ると、盛岡市に比べ、対象区間の南側に位置する矢巾町、紫波町の利用頻度が高い傾向にある。

質問①, ② 国道4号(盛岡南地区)の道路利用についてお聞きします。

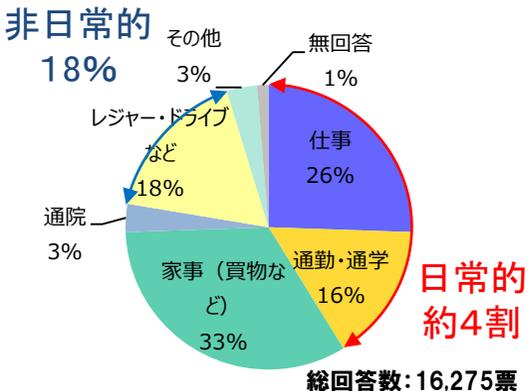
【図1】利用手段



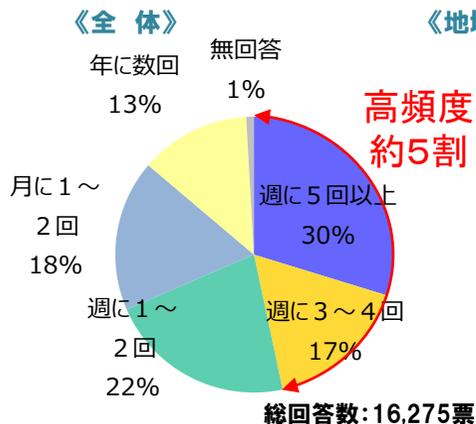
【図4】利用目的別利用頻度



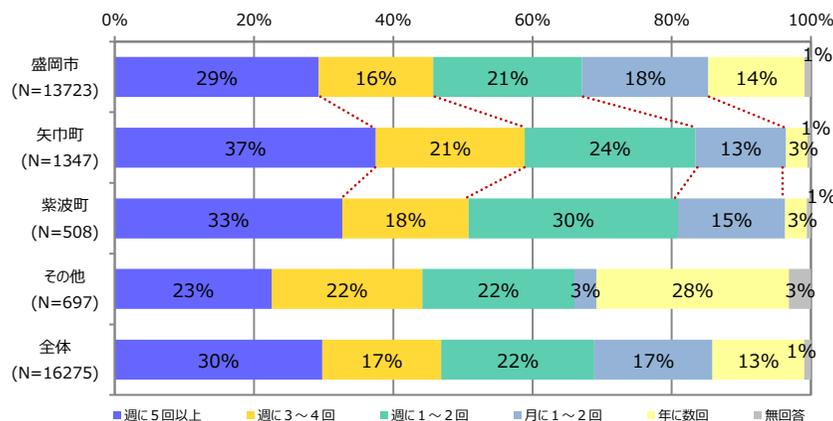
【図2】利用目的



【図3】利用頻度



《地域別》



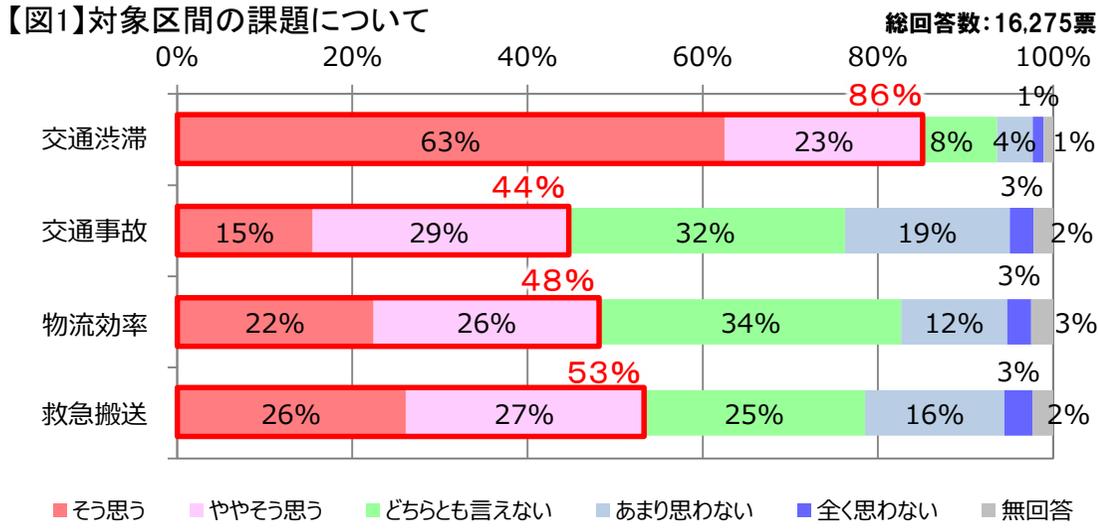
# 2-4. 住民等への意見聴取の結果(課題)

- ◆交通渋滞を約9割の方が課題と感じており、他の3項目と比べても突出して多い。
- ◆利用頻度別では、利用頻度が高いほど課題と感じている割合が高く、「週5回以上」の利用者では交通渋滞が約9割、それ以外(交通事故、物流効率、救急搬送)も約6割が課題と感じている。

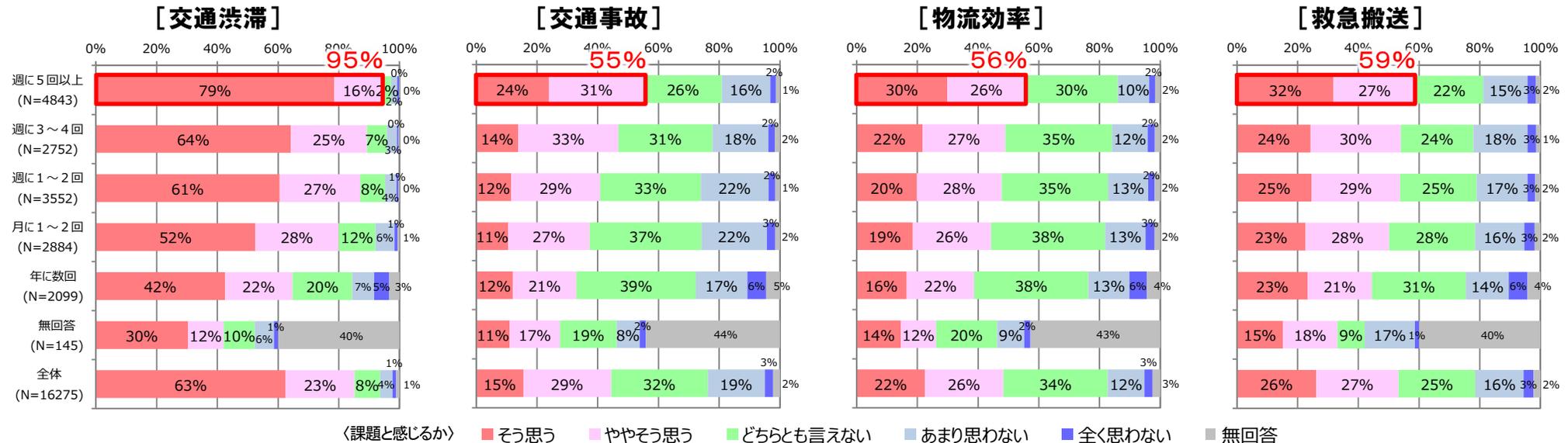
質問③ 課題についてお聞きします。  
以下の各項目について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○を付けてください。

質問③-1 課題について

- ・交通渋滞が発生している(朝・夕方等)
- ・交通事故が多い
- ・産業活動における物流効率が悪い
- ・救急病院に行くのに時間がかかる



【図2】利用頻度別集計



## 2-4. 住民等への意見聴取の結果(課題)

- ◆課題に関する自由意見について、課題と感じられている意見の9割以上を「課題4項目」が占め、交通渋滞や交通事故では、道路構造に起因した走行環境の悪化等に関する意見、物流効率や救急搬送では、物流拠点・医療施設へのアクセス性等に関する意見を頂いた。
- ◆課題と感じられない意見では、日常的に利用機会が少なく課題4項目への実感が希薄である事が理由として見られた。

質問③-2 上記を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題について「そう思う」、「ややそう思う」  
場合の自由意見

【表2】課題について「全く思わない」、「あまり思わない」、「どちらとも言えない」  
場合の自由意見

分類	主な意見【6,492件】	主な意見【905件】	合計
交通渋滞 【4,810件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平日の朝夕は通勤で混み、休日は買い物で混む。</li> <li>• 信号機が多すぎるため渋滞が発生している。</li> <li>• 信号で必ずひっかかるので流れを考えた配分にして欲しい。</li> <li>• 右折による渋滞が多い。右折レーンを整備してほしい。</li> <li>• 冬期は国道4号に車が集中する為、朝の出勤時の渋滞がひどい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通院時間は日中の為に交通渋滞にはまる事はあまりない。</li> <li>• 盛北地区に住んでいるため、休日の利用が多い、平日の朝夕は混んでいるような気がするが休日は特に影響ない。</li> <li>• 公共交通を利用しているので日中の比較的混まない時間のため。</li> <li>• 日中は渋滞が気にならないが、道路凍結時に混雑しないようにしてほしい。</li> </ul>	7,036件
交通事故 【690件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国道4号沿いに住んでいるが事故が多いと感じる。</li> <li>• 交通量が多く出づらい。沿道への出入りが多く事故が怖い。</li> <li>• 国道4号で右折する車両で急ブレーキする時が良くあり、事故の可能性が高い</li> <li>• 中央分離帯がなく右折車線もない場所が多いため渋滞に伴う事故リスクも高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較的小さい事故について知る機会がないことによる回答です。</li> <li>• 交通事故についての実感や情報を持ち合わせておらず、課題とは全く思わない。</li> <li>• 私の通行している時間帯では、交通渋滞や事故は少ない。</li> <li>• 朝・夕はかなり渋滞しているので注意が必要なのでむしろ事故は少ない気がする。</li> </ul>	
物流効率 【297件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 物流拠点からのアクセスをスムーズにするための道路の改善が必要。</li> <li>• 国道4号と流通センター・卸売市場が東西に離れて立地しているため、アクセス効率が悪い。</li> <li>• 中央市場から国道46号へのアクセスに時間がかかり大変。早く国道46号を矢巾まで延伸してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 物流効率についての実感や情報を持ち合わせておらず、課題とは全く思わない。</li> <li>• トラックは国道4号よりも、県道盛岡和賀線で見ることが多い。</li> </ul>	
救急搬送 【415件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 渋滞していると救急車が後から来ても道をあげられない。</li> <li>• 急病等で近所の病院へ行くと、だいたい医大へ行く様に言われるが、矢巾へ移転するとかかり時間がかかってしまう。</li> <li>• 高次救急が遠くなるので心配。</li> <li>• 医大移転に伴い盛岡市中心部からの搬送ルートに現状のような渋滞があれば、人命に関わる事態になりかねない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 救急病院へは行かないため、よくわからない。</li> <li>• 止まって動かないということもないし、救急車両も徐行で通れている。</li> </ul>	
その他 【280件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国道4号の他に南北を縦断する道路があると流れがスムーズになると思う。</li> <li>• バス停スペースを整備してほしい。</li> <li>• 国道4号に面している自宅で騒音が大きくて窓を開けられない</li> <li>• 車線が狭く、冬道の除雪が脇にあるので走りづらい。</li> <li>• トラックなどの大型車両が数多く通る時、冬道での車間距離が怖い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 同区間が国道4号しかない。バイパス、迂回路がないから、改良しても無意味だ。</li> <li>• 国道や、盛南地区は特に不便はない。そんなものだろうと思う。</li> <li>• 車の流れは比較的スムーズ。</li> <li>• 盛岡の中心部へ行く道路が他に整備されているため。</li> <li>• 早朝のため気にならない。</li> </ul>	

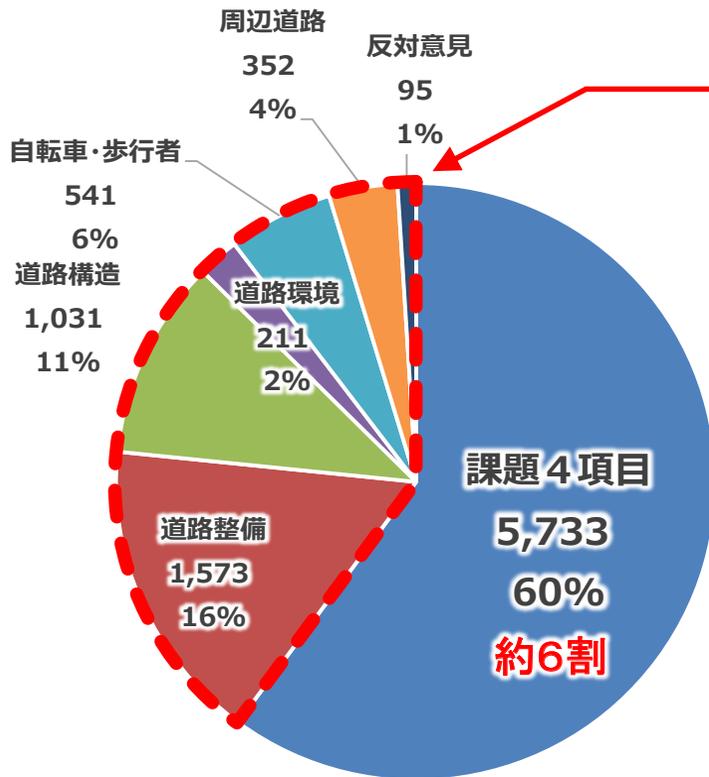
課題4項目が96% 【4項目(6,212件) / 全体計(6,492件)】

対象区間の課題に関する自由意見回答者数 : 7,397人

## 2-4. 住民等への意見聴取の結果(意見・要望)

- ◆対象区間や周辺道路への意見・要望についても、提示した課題4項目への同意の意見が6割を占める。
- ◆その他の意見・要望では「道路整備」が最も多く、「道路構造」や「自転車・歩行者」への意見あった。

質問④ その他、国道4号(盛岡南地区)および周辺道路について、ご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



交通渋滞・交通事故・物流効率・救急搬送の「課題4項目」への賛同意見が多い

分類	主な意見
道路整備 【1,573件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の拡幅(片側3車線)及び信号機の削減。</li> <li>西バイパスが行き止まり。新しく矢巾に出来る医大まで延伸してほしい。</li> <li>盛岡南IC、矢巾スマートICから国道4号まで遠い。国道4号まで行けるバイパスなど新しく作ったほうが便利になる。</li> <li>車線数を増やすために拡幅するのはかなりの土地が必要になる。</li> <li>物流拠点を利用しやすいような道路の整備が必要。</li> <li>急速に発展している矢巾町と盛岡市内を結ぶ縦軸を早急に整備していただきたいと思っています。</li> <li>西回りバイパスの盛岡南インター以南の延伸又は、国道4号の多車線化が必要と考えます。</li> </ul>
道路構造 【1,031件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央分離帯を設け、高規格道路にしないと、解消しない。</li> <li>立体交差にしてほしい。</li> <li>街灯を増やしてほしい。</li> </ul>
道路環境 【211件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音、振動がひどい。</li> <li>環境整備、自然保護を大切に計画検討願います。</li> </ul>
自転車・歩行者 【541件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車用通路を作ってほしい。自転車がはみ出していたり、転倒して危ない。</li> <li>地下道、歩道橋を作ってほしい。</li> </ul>
周辺道路 【352件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道4号上り、特に盛岡南IC入口交差点が朝方渋滞するため、住宅地を迂回して流通センター方面に向う車が多い。</li> <li>国道4号の混雑をさけるため裏道を通る車が多く、細い道をとばすので危ない。周辺には学校もあるので、歩道の確保など、対策をしてほしい。</li> </ul>
反対意見 【95件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、日本の人口が激減していくので、道路などの整備に金をかけなくてもいいと思う。</li> </ul>

対象区間の課題に関する自由意見回答者数：7,000人

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

## **2. 地域の意見聴取(第1回)結果の確認**

### **事業者への意見聴取結果**

# 2-5. 事業者への意見聴取の結果(属性・道路利用)

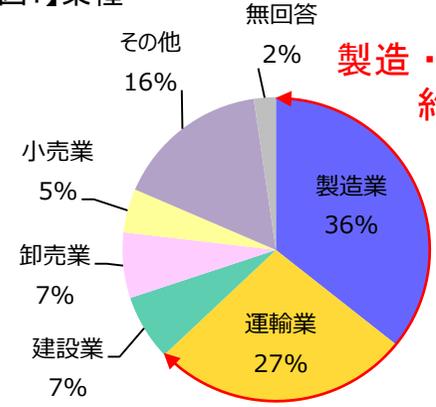
- ◆業種は「製造業」が約4割、「運輸業」が約3割を占めた。また、利用目的では「運送・運搬」と「営業」を併せて約8割を占め、沿線地域の流通や企業活動で多く利用されている。
- ◆利用頻度では、「週に3~4回」以上の利用が約6割を占め、住民アンケートと比較すると、事業者の利用頻度が高い。

質問 貴事業所についてお聞かせください。(業種、住所)  
 質問①, ② 国道4号(盛岡南地区)の道路利用についてお聞きします。(利用目的、利用頻度)

【表1】アンケート回収状況

調査票形式	配布回収数	
	配布数	回収数
郵送配布・郵送回収	524	216
盛岡市	134	63
矢巾町	161	66
紫波町	116	37
花巻市	29	12
北上市	72	28
金ヶ崎町	12	7
その他(不明含む)	—	3

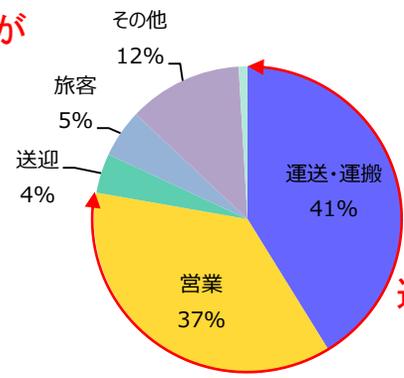
【図1】業種



製造・運輸業が約6割

総回答数:216票

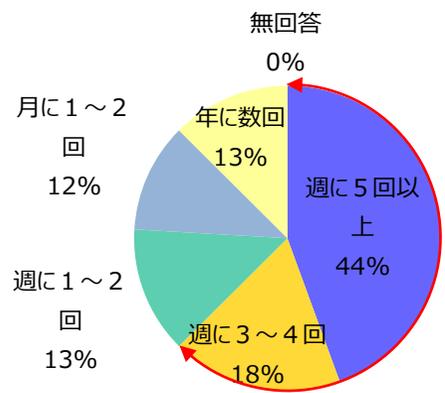
【図2】利用目的



運送・営業が約8割

総回答数:216票

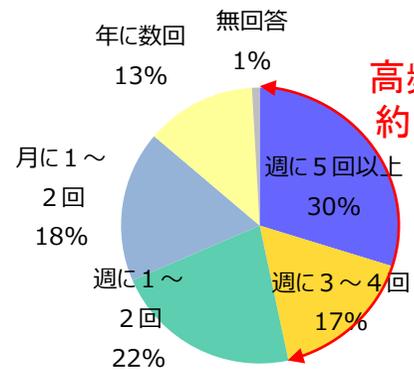
【図3】利用頻度



高頻度約6割

総回答数:216票

【図4】住民アンケート調査結果



高頻度約5割

総回答数:16,275票

# 2-5. 事業者への意見聴取の結果(課題)

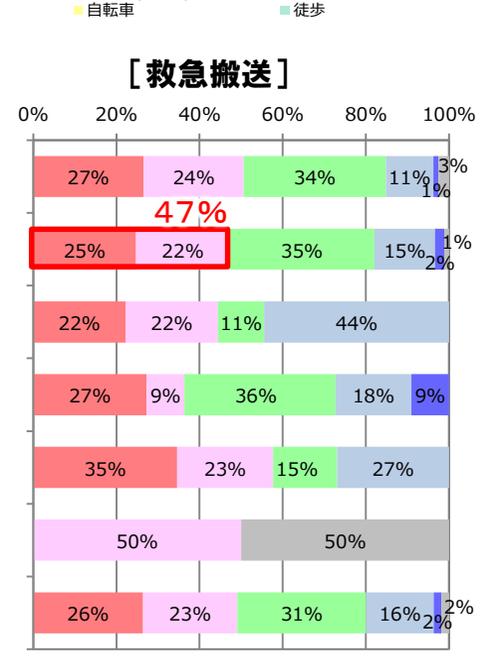
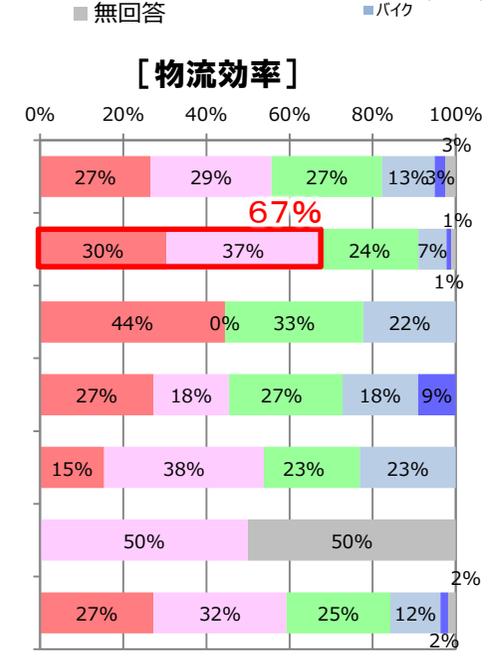
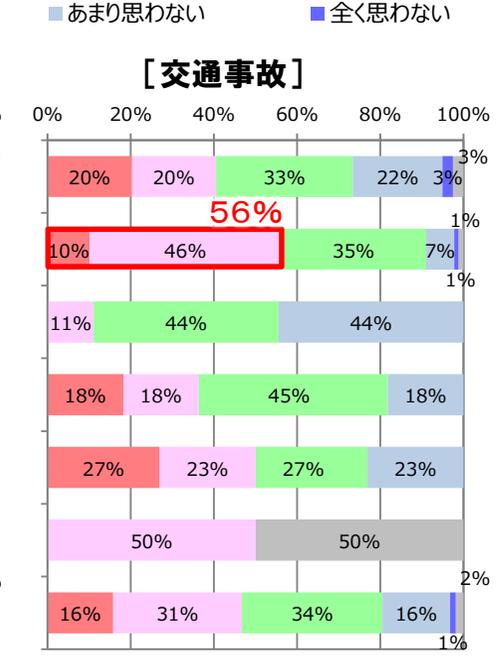
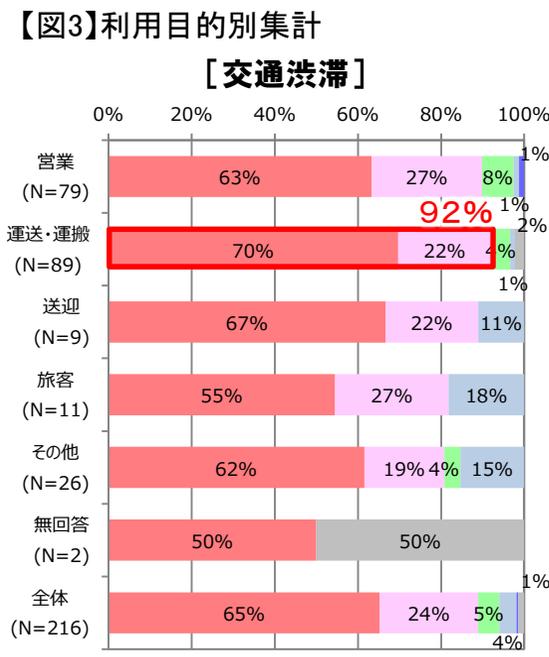
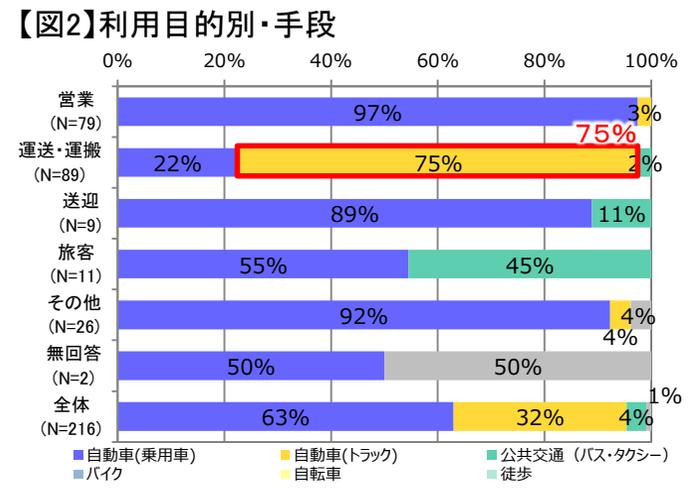
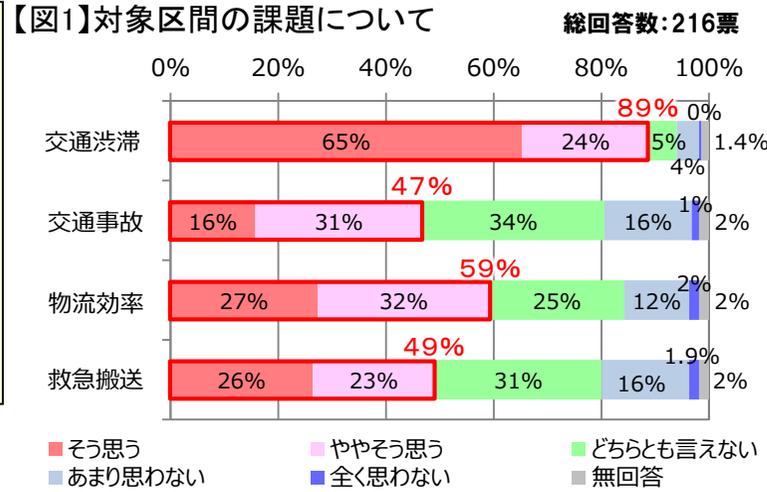
- ◆交通渋滞を約9割の事業者が課題と感じており、他の3項目と比べても突出して多い。
- ◆利用目的別では、トラックの利用が多い「運送・運輸」では、物流効率を課題と感じている事業者が7割と高く、交通渋滞、交通事故も全体と比べ高い傾向にある。

質問③ 課題についてお聞きします。

以下の各項目について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○を付けてください。

質問③-1 課題について

- ・交通渋滞が発生している(朝・夕方等)
- ・交通事故が多い
- ・産業活動における物流効率が悪い
- ・救急病院に行くのに時間がかかる



(課題と感じるか) ■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらとも言えない ■ あまり思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

## 2-5. 事業者への意見聴取の結果(課題)

- ◆課題に関する自由意見について、課題と感じられている意見の約9割を「課題4項目」が占め、交通渋滞や交通事故では、道路構造に起因した走行環境の悪化等に関する意見、物流効率や救急搬送では、物流拠点・医療施設へのアクセシビリティに関する意見を頂いた。
- ◆課題と感じられない意見では、今後起こりうる渋滞や事故の問題を想定した意見や、迂回道路への意見を頂いた。

質問③-2 質問③-1を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

【表1】課題について「そう思う」、「ややそう思う」  
場合の自由意見

【表2】課題について「全く思わない」、「あまり思わない」、「どちらとも言えない」  
場合の自由意見

分類	主な意見【77件】	分類	主な意見【13件】	分類
交通渋滞【50件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年々交通渋滞がひどくなって来ている。1日も早い改善をお願いしたい。</li> <li>• 信号が多く、渋滞が発生するので、利用しないようにしている。</li> <li>• 国道4号盛岡南IC入口の信号が交通量の割に青の時間が短い。</li> <li>• 渋滞時の所要時間がかかりすぎる(冬期間においては更に悪化)。</li> <li>• 国道4号に接続している枝道が多く、国道から右・左折する車両で混雑の要因となっている。</li> <li>• 右折レーンがないところでの右折が多いため渋滞する。</li> <li>• 右折専用レーンを設置してほしい。</li> </ul>	交通渋滞【2件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今は混んでいると思わないが、医大が矢巾に来るので、混雑するのではないかと。</li> </ul>	72件
交通事故【6件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交差点以外で右折し店舗等へ行く車が渋滞や事故の原因になっていると思います。</li> <li>• 右折レーンを設けるなど、安全に通行できるようにしてほしい。</li> <li>• 交通事故の要因として、除雪の方法などの改善が必要ではないかと思っています。</li> </ul>	交通事故【2件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路脇に店舗・住宅地が有り、信号の無い出入り口が有るが、国道4号線走行の車両はかなりのスピードで走っている。</li> </ul>	
物流効率【6件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 営業運搬に時間がかかる(盛岡方面に移動)。</li> <li>• 矢巾スマートICを有効利用したいが、国道4号に出るまでの効率が悪い</li> <li>• 物流集中地域はバイパスを設け、大型トラックと一般車が同じ幹線道路を走行しないような道路計画をお願いしたい。</li> </ul>	物流効率【0件】		
救急搬送【6件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 救急搬送の障害は改善が必要と思います。</li> <li>• 紫波・矢巾からの救急搬送の現状は大変。</li> </ul>	救急搬送【0件】		
その他【9件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 盛岡南地区に商業施設、公共施設、物流基地が集中している為、県内地域を分散して目的地が重ならない配置を計画頂きたい。</li> <li>• 国道4号以外の農道を利用している(国道4号はあきらめている)</li> <li>• 4号の幅を広くしてほしい所だが、現状を考えると無理がある。なので、バイパスとなるような道の拡充をお願いしたい。</li> </ul>	その他【9件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 迂回する道路が狭い上に、少ない(または無い)。</li> </ul>	

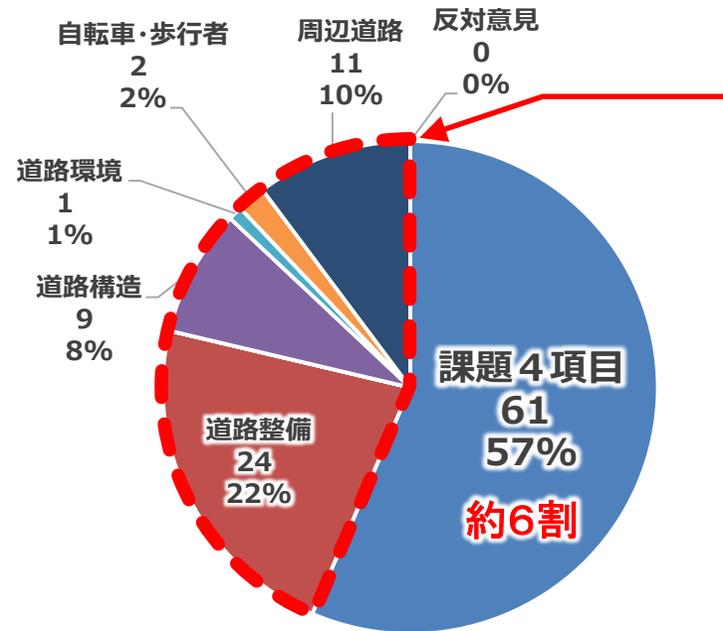
課題4項目が88%【4項目(68件) / 全体計(77件)】 対象区間の課題に関する自由意見回答者数：87人

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

## 2-5. 事業者への意見聴取の結果(意見・要望)

- ◆対象区間や周辺道路への意見・要望についても、提示した課題4項目への同意の意見が約6割を占める。
- ◆その他の意見・要望では「道路整備」が最も多く、「道路構造」や「周辺道路」への意見もあった。

質問④ その他、国道4号(盛岡南地区)および周辺道路について、ご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



交通渋滞・交通事故・物流効率・救急搬送の「課題4項目」への賛同意見が多い

分類	主な意見
道路整備【24件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢巾スマートICを有効活用すべく道路環境整備をおねがいします。</li> <li>・商業施設や飲食店付近の出入専用、部分的に道路の拡幅があれば良い。</li> <li>・西バイパス南口を矢巾、紫波方面に延長してほしい。</li> <li>・国道4号に並行する道路が少なく、それを結ぶ東西のアクセスも悪い。</li> <li>・東から西に向かう大きな道路が必要。</li> </ul>
道路構造【9件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交差点で左折レーン・右折レーンを増やしてほしい</li> <li>・中央分離帯を作るなどして右側の店舗へ行くのを減らした方が良い。</li> </ul>
道路環境【1件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場の除雪による春先のアスファルトのはがれを早く修復してほしい</li> </ul>
自転車・歩行者【2件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横断歩道の信号と時差式にした方が良い</li> </ul>
周辺道路【11件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道盛岡石鳥谷線冬期間は吹雪で視界も悪く怖い。林帯も多く凍結している。</li> <li>・矢巾へ岩手医大が移転したら、国道4号が今以上に混雑するので国道4号以外の道を整備し迂回できる様にしてほしい。</li> </ul>
反対意見【0件】	

対象区間の課題に関する自由意見回答者数：73人

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

## **2. 地域の意見聴取(第1回)結果の確認**

### **関係団体ヒアリングの結果**

## 2-6. 関係団体ヒアリングの結果

- ◆アンケート調査で得られた課題に対しての意見について、それぞれの関係機関の見地から専門的意見を頂き、問題点を明確にし、課題の再整理を行う。
- ◆交通渋滞や交通事故等の道路に関する課題については、警察機関・公共交通機関・自治体より信号交差点や中央分離帯未設置等における具体的な問題点等の指摘を伺った。
- ◆物流効率については、農協・トラック協会などの利用者観点での指摘、救急搬送については医療機関・消防機関へ岩手医大救命救急センター移転後における懸念事項等について伺った。
- ◆また、今後対策案を検討するうえで課題以外での留意事項として、道路環境に関する意見や土地利用に関する意見も得られた。

項目		主な意見
課題に対する意見	交通渋滞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しく小学校が開校した際や、国道4号東側からの小学校、中学校側にアクセスするため信号(交差点)の増設経緯がある。【自治体】</li> <li>● 国道4号は<b>バス運行の定時性確保の面で課題が大きく、とくに冬期はその課題が顕著</b>。【公共交通機関】</li> <li>● 国道4号および<b>交差道路の双方とも交通量が多く、信号の現示調整では限界がある</b>。右折レーンも不足して直進阻害生じており改善が必要。【警察機関】</li> </ul>
	交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中央分離帯がないため<b>右折車両の沿道への出入りが多く、追突や出会い頭の事故多発</b>につながっている。【警察機関】</li> <li>● <b>渋滞に起因して、周辺市道の抜け道利用が存在し、歩行者など地域住民の安全確保に課題がある</b>。【警察機関】</li> <li>● <b>バスベイの出入りや、沿道からの出入り車両など、安全に気を使いながら運行する必要があるため運転手の不安も大きい</b>。【バス協会】</li> </ul>
	物流効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国道4号は<b>渋滞しているうえに、信号の数がかなり多い</b>ため、運搬ルートとして適さない。国道46号から真つすぐ貨物ターミナルにつながると利便性が上がる。また、今後は人手不足によりトラック大型化が想定され、<b>物流拠点周辺の走行性は重要になる</b>。【トラック協会】</li> <li>● 国道4号は、<b>昔に比べると信号が多くなった</b>気がする。信号が多い事から<b>渋滞が発生して、輸送時間が掛かるようになった</b>。【農協】</li> <li>● 40ft背高コンテナの輸送には、国道4号、46号を利用しているが、<b>混雑しているため改善してほしい</b>。【物流事業者】</li> </ul>
	救急搬送	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医大移転後は国道4号の利用が多くなると考えられるが、<b>現状は渋滞や信号が多いためブレーキ機会が多く、患者への負担や車内処置に支障があるなど移転後の救急搬送に課題を感じている</b>【消防機関】</li> <li>● 医大移転後は、救命救急や周産期医療の機能を持つが、これらは1分1秒が命に係わるケースもあるため、<b>速達性は最も重要</b>。【医療機関】</li> </ul>
その他意見	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国道4号も物流の大型車が多いため、沿線家屋から<b>振動や騒音などに対する苦情もある</b>。【自治体】</li> <li>● 対象区間周辺において、重要な動植物は確認されていない。【自治体】</li> </ul>
	まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国道4号に近接した医大周辺、矢巾東小学校の東側で開発が進んでいるため、<b>周辺土地利用に配慮した計画をお願いしたい</b>。【自治体】</li> </ul>

## **2. 地域の意見聴取(第1回)結果の確認**

**地域の意見聴取(第1回)の結果のとりまとめ**

## 2-7. 地域の意見聴取(第1回)の結果のとりまとめ

## アンケート・ヒアリング

	アンケート	ヒアリング	課題
交通渋滞	信号が多い 右折レーンがない	【警察】 現示の調整に限界、右折車の直進阻害が問題	対象区間の旅行速度低下
	沿道からの出入りが多い	【自治体】 周辺の開発に伴い信号(交差点)の増設経緯がある	主要幹線道路としての機能が低下
交通事故	沿道からの出入り車両により急ブレーキをかけたことがある	【公共交通】 沿道の出入りが多いためバスベイへの車線変更には細心の注意を払っている	沿道の出入りが多く、急挙動が多い
	中央分離帯や右折レーンの整備がされていない	【警察】中央分離帯や右折レーン未整備箇所があり、右左折や沿道出入りに伴う追突事故や出会い頭の事故が多く発生	主要幹線道路としての安全性が確保された構造となっていない
物流効率	国道4号と物流拠点のアクセス効率が悪い 矢巾SICから国道4号までの効率が悪い	【農協】 国道4号は、昔に比べ信号が多くなった。信号が多く渋滞が発生し輸送時間が掛かる。	物流拠点へのアクセスルートが脆弱
	大型車と一般車が同じ幹線道路を通行しない道路計画が必要	【トラック】 40ft背高コンテナの輸送には、国道4号、46号を利用しているが、混雑しているため改善を要望	物流を支える幹線道路が不足
救急搬送	渋滞していると救急車に道をあげられない 三次救急施設まで遠くなる	【医療】 医大移転後の速達性確保が重要	第三次救急医療施設へのアクセスに時間がかかる
	信号が多く混雑した区間を通る事となる	【消防】 信号交差点進入時の加減速による患者への負担が心配	患者の負担を軽減する安定した搬送ルートが無い
その他	車線数を増やすためにはかなりの土地が必要になる	【自治体(都計)】 国道4号、46号沿線を中心に市街化が進んでおり、周辺土地利用に配慮した計画を要望	国道沿いに多くの建物が立地済み
	沿道の騒音・振動を減らして欲しい	【自治体(都計・環境)】 国道4号も物流の大型車が多いため、振動や騒音などに対する苦情もある	沿道の住環境の保全
	環境整備、自然保護を大切に計画検討してほしい	【自治体(環境)】 対象地域内で重要な動植物は確認されていない	自然環境の保全

# 2-7. 地域の意見聴取(第1回)の結果のとりまとめ

## アンケート・ヒアリング

○ 具体的に課題として挙げた箇所

凡例

高速道路	6車線	
一般国道	4車線	
事業中(直轄)	2車線	
主要地方道	主要渋滞箇所	
一般県道		



◇ 対象区間全体に共通する課題

**【交通渋滞】**

- 対象区間の旅行速度低下
- 主要幹線道路としての機能が低下

**【交通事故】**

- 沿道の出入りが多く、急挙動が多い
- 主要幹線道路としての安全性が確保された構造となっていない

**【物流効率】**

- 物流拠点へのアクセスルートが脆弱
- 物流を支える幹線道路が不足

**【救急搬送】**

- 第3次救急医療施設へのアクセスに時間がかかる
- 患者の負担を軽減する安定した搬送ルートが無い

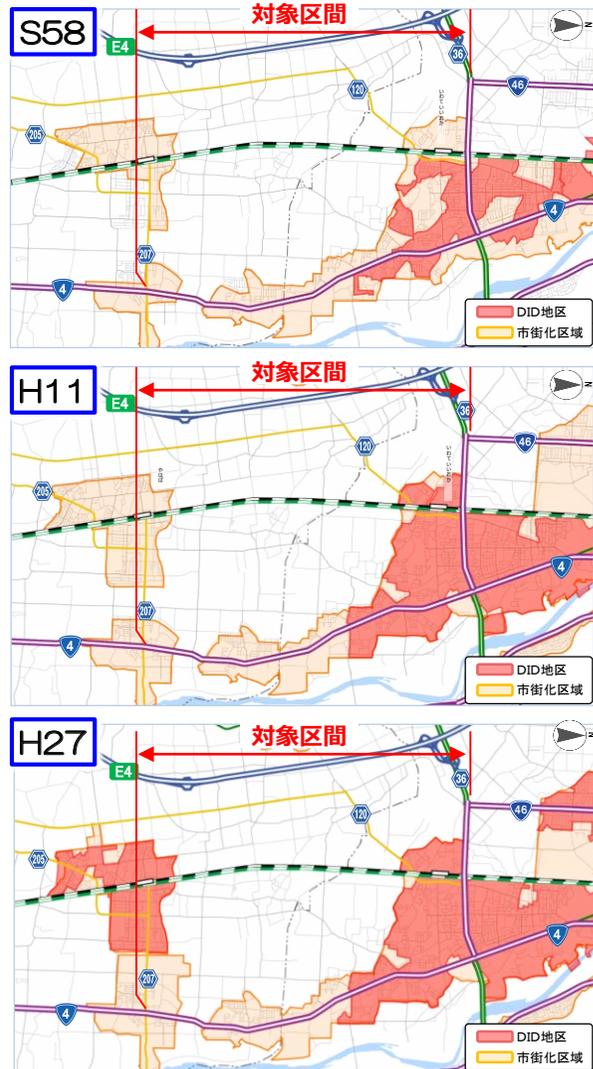
## **2. 地域の意見聴取(第1回)結果の確認**

### **意見聴取を踏まえた課題の再整理**

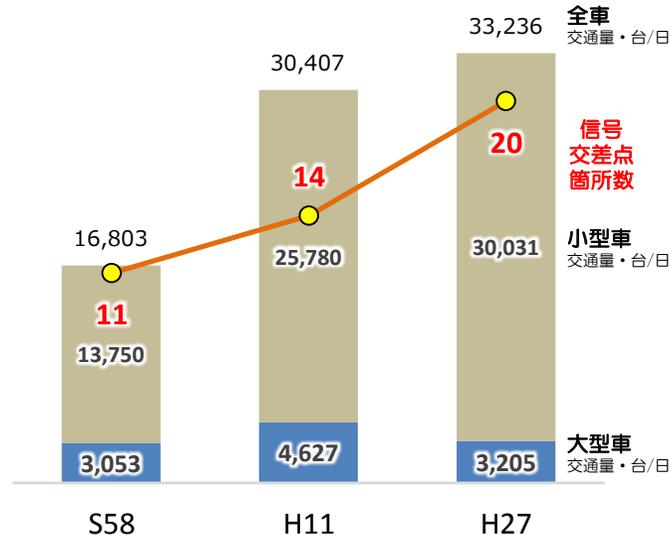
# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理 (渋滞)

- ◆沿線の市街化と共に国道4号・46号の交通量は増加し、また接続道路の信号交差点化も増加したため、交通処理能力が低下。
- ◆通常走行時でも交差点が多い為に時間損失が必然的に生じるなど、主要幹線道路としての速達性・定時性が課題。

【図1】国道4号・46号周辺の土地利用状況の変化

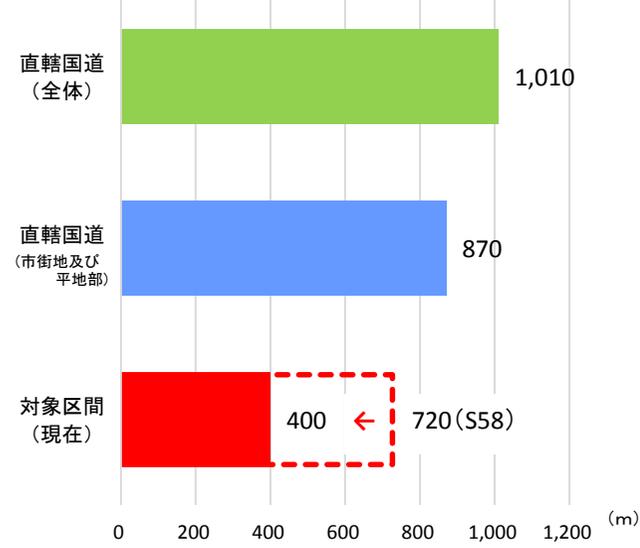


【図2】交通量と信号交差点数の推移



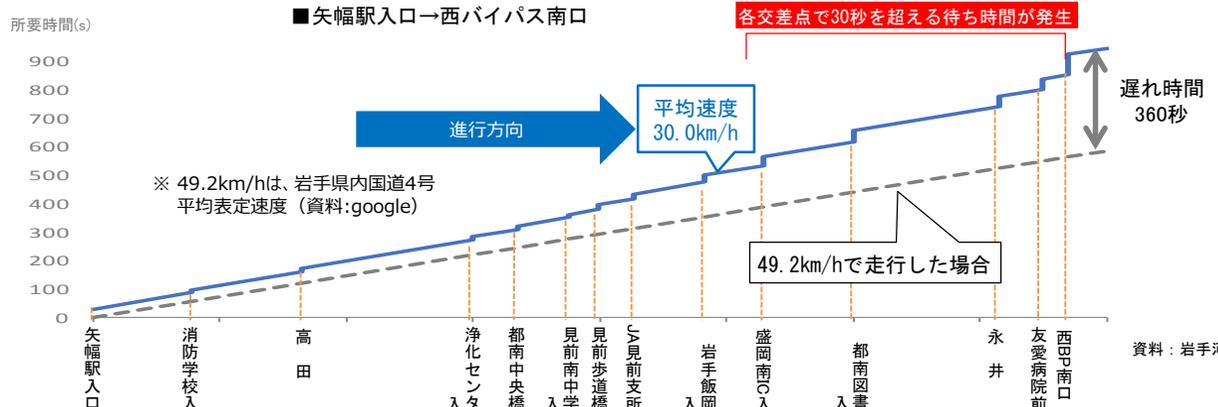
資料：全国道路・街路交通情勢調査 (対象区間の平均)

【図3】信号交差点間隔(平均距離)



資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 ※「直轄国道」は東北地整管内

【図4】信号交差点による遅れ時間



資料：岩手河川国道事務所

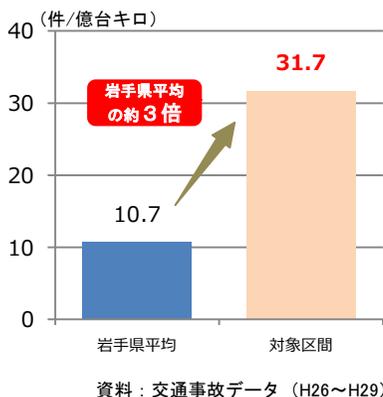
# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理 (事故)

- ◆対象区間は交差点、単路部ともに事故が多く追突事故の発生割合が高い。
- ◆特に国道4号の中央分離帯未設置区間において、急ブレーキ等の運転挙動が顕著に発生しており事故率も高い区間となっている。
- ◆右左折による頻繁な沿道との出入り交通の発生に伴い主要幹線道路としての安全機能が低下。

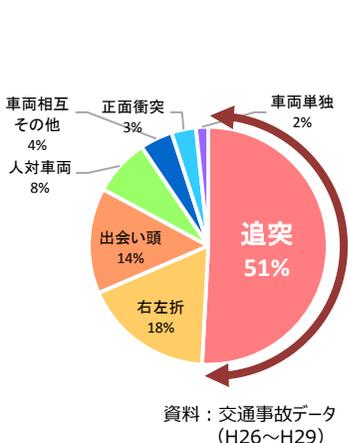
【図1】死傷事故率(交差点部)



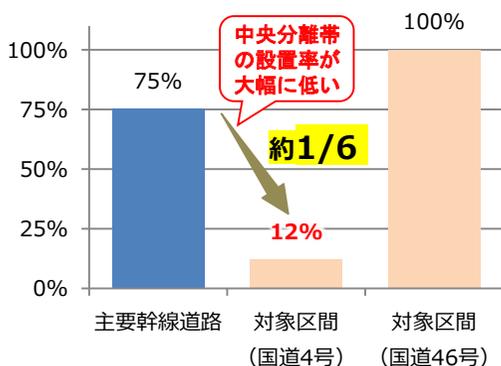
【図2】死傷事故率(単路部)



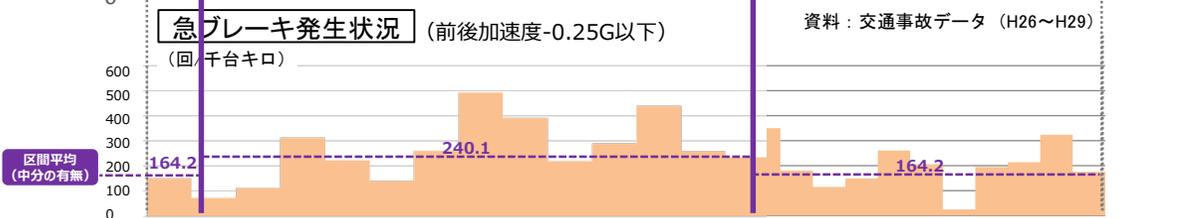
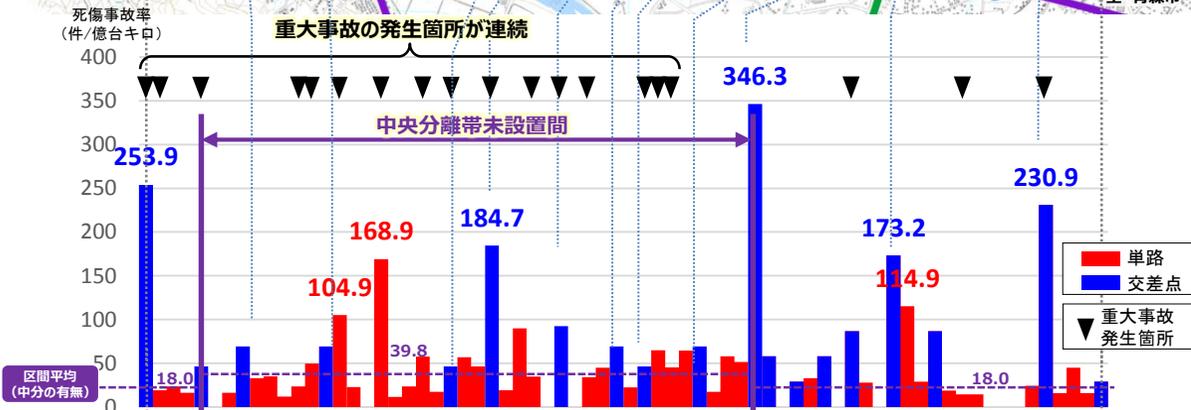
【図3】交通事故類型(対象区間)



【図4】中央分離帯設置率



【図5】交通事故と急ブレーキの発生状況



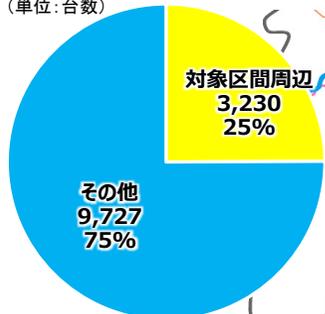
# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理 (物流:拠点性)

- ◆対象地域は岩手県を代表する物流拠点の基地となっており、中でも対象区間の周辺5km圏に県全体の25%のトラック車両が登録されている。
- ◆対象地域の大型車発生集中交通量も近年10年間で約3～7割増加しており、物流基地として益々成長している状況。

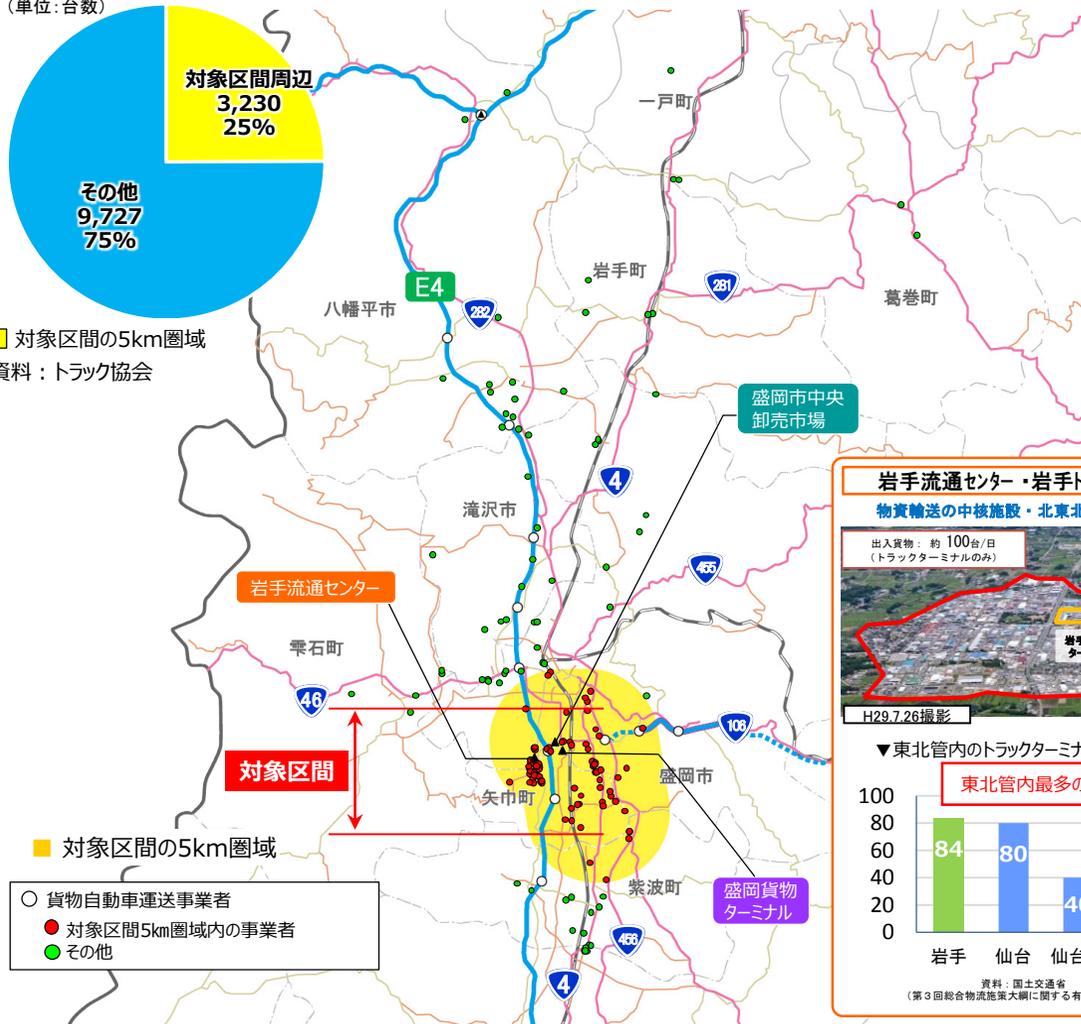
【図1】貨物自動車運送事業者の立地状況

【図2】岩手県内のトラック車両数

(単位:台数)

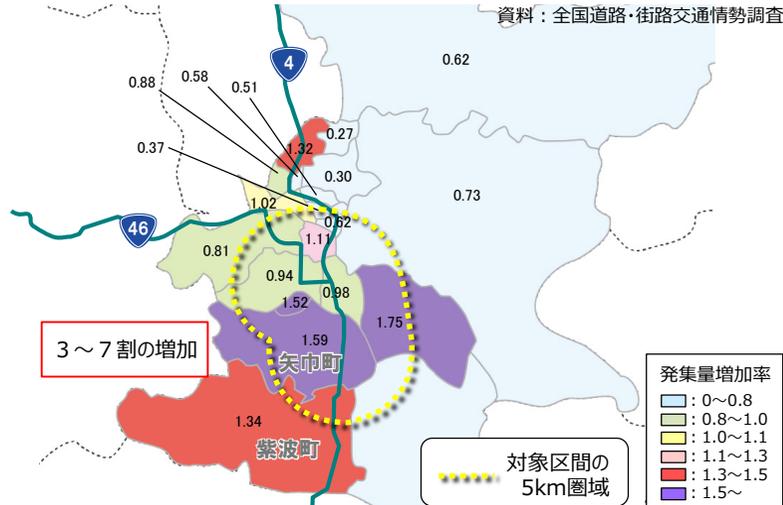


■ 対象区間の5km圏域  
資料:トラック協会



【図3】大型車発生集中交通量の推移(H17→H27)

資料: 全国道路・街路交通情勢調査



### 岩手流通センター・岩手トラックターミナル

物資輸送の中核施設・北東北唯一のターミナル

出入貨物: 約 100台/日 (トラックターミナルのみ)

117 ha

H29.7.26撮影

#### ▼東北管内のトラックターミナル (バス数)

東北管内最多のバス数

地域	バス数
岩手	84
仙台	80
仙台南	40
郡山	45

資料: 国土交通省 (第3回総合物流施策大綱に関する有識者検討会)

### 盛岡貨物ターミナル

北東北唯一のインランドデポ【※】設置

出入貨物: 約 550台/日

15 ha

H29.10.21撮影

#### ▼盛岡貨物ターミナル駅の貨物量

13%増

年度	貨物量 (千トン)
H22	747
H29	841

(単位: 千トン / 年度) 資料: 日本貨物鉄道株式会社

### 盛岡市中央卸売市場

岩手県における卸売市場の中核となる役割

出入貨物: 約 550台/日

29 ha

H29.10.21撮影

#### ▼県内卸売市場の青果物・水産物の取扱量

市場	取扱量 (トン)	割合
地方卸売市場・他市場	48,426	32%
盛岡市中央卸売市場	103,160	68%

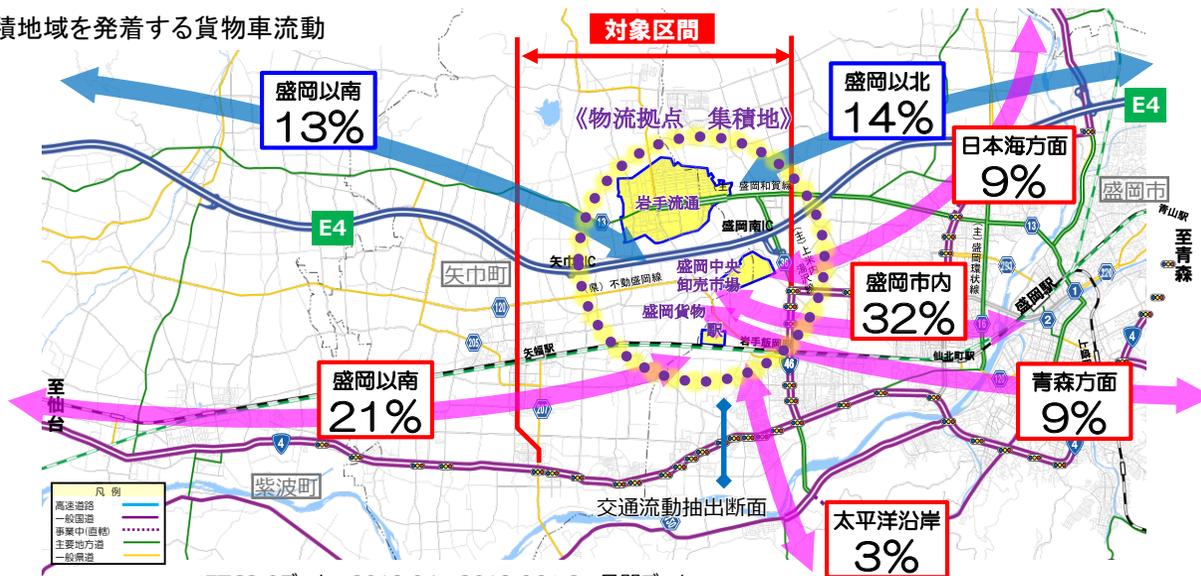
(単位: トン / 年度) 資料: 盛岡市中央卸売市場統計「年次別取扱高表」及び流通課「平成27年度地方卸売市場等実態調査」

※**バス**: トラックを停めて積卸しを行うスペース

# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理 (物流:アクセス性)

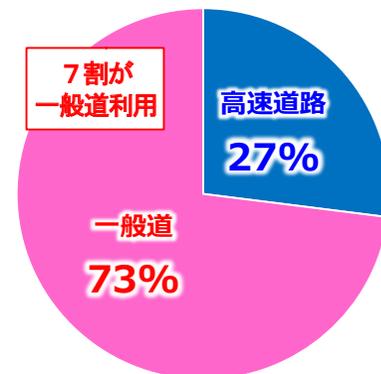
- ◆ 物流拠点から発生する貨物は、高速道3割、一般道7割の経路分担であり、対象区間が担う盛岡以南への需要は約2割である。
- ◆ トラック輸送の主流であるコンテナ貨物の特殊車両通行許可申請状況から、盛岡以南のトラック輸送経路として国道4号が主要路線として考えられる。
- ◆ しかし、国道4号利用交通の内訳では、盛岡を通過・発着する広域的な交通の他に盛岡市周辺地域内(盛岡市南部、矢巾町、紫波町)の利用交通も多く、これらの機能分担が適切に図られていない状況。

【図1】物流拠点の集積地域を発着する貨物車流動



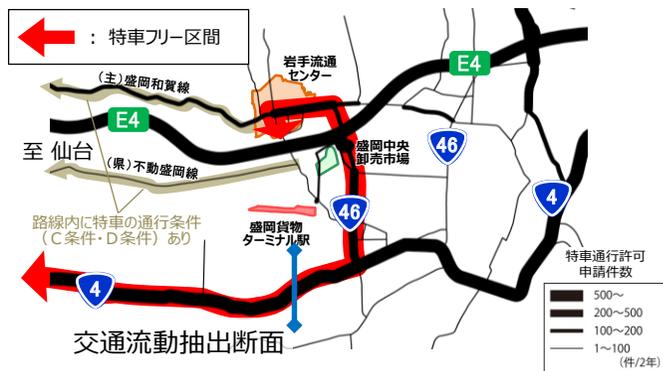
※ETC2.0データ：2018.04～2018.06の3ヶ月間データ

【図2】物流の利用経路内訳

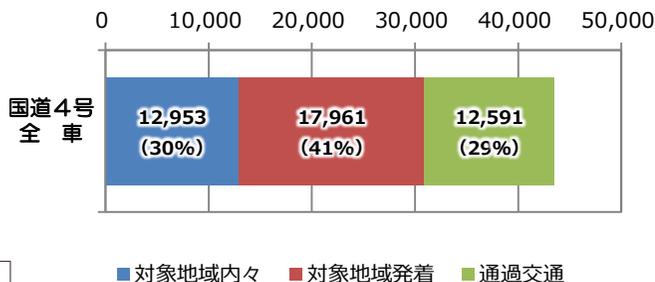


※ETC2.0データ：2018.04～2018.06の3ヶ月間データ

【図3】国際海上コンテナ車(40ft背高)通行許可申請状況



【図4】国道4号の交通流動内訳



※対象地域：盛岡市南部、矢巾町、紫波町

【図5】国際海上コンテナ車(40ft背高)

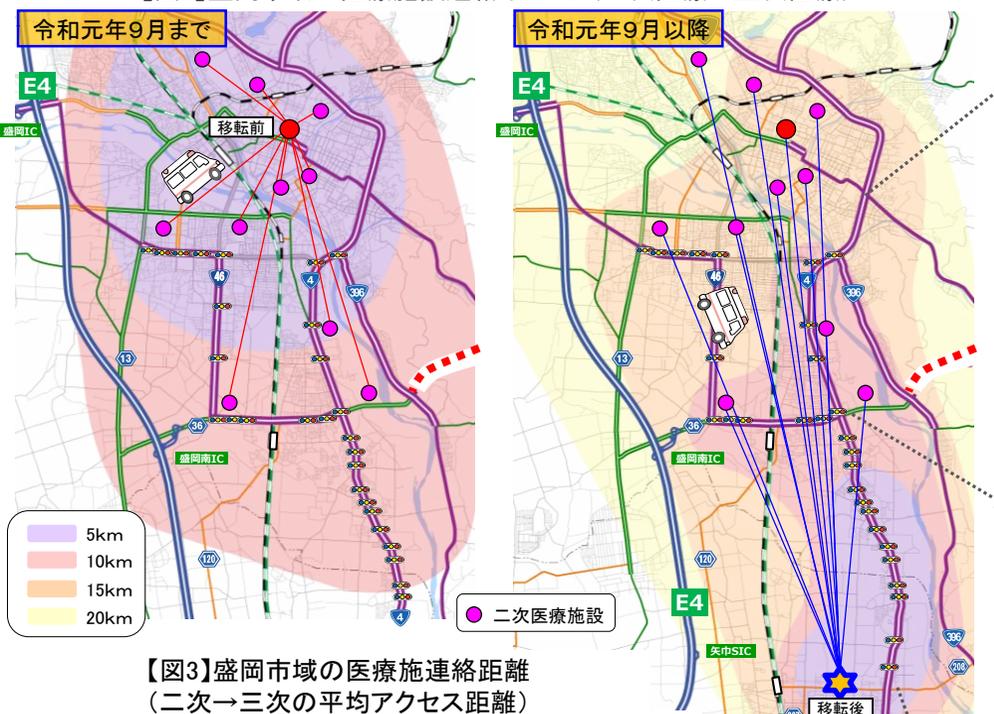


国際海上コンテナ車(40ft背高)の場合、高さは約4.1mとなり、道路通行前に特殊車両の通行許可が必要

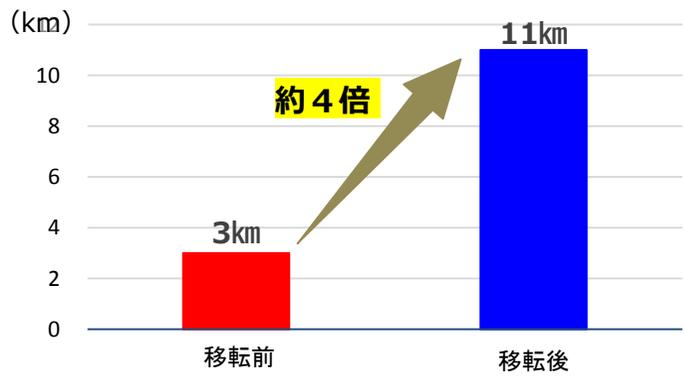
# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理 (救急)

- ◆ 第三次医療への搬送距離が移転後に拡大するほか、搬送ルートとなる国道4号は信号が多く急ブレーキが発生する恐れのある区間を通過。
- ◆ 救急医療施設へのアクセス性の改善や、患者の負担を軽減する安定した搬送ルートの確保が課題。

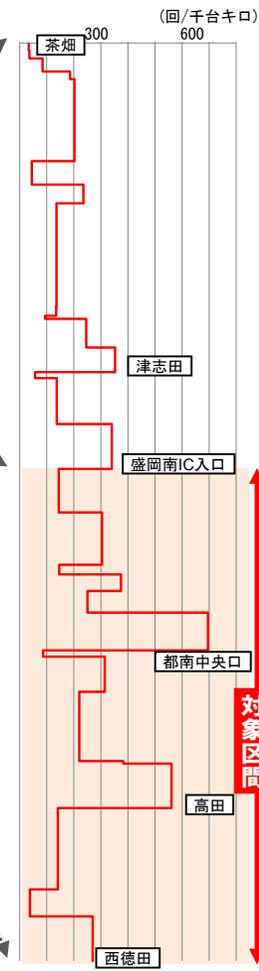
【図2】盛岡市域の医療施設連絡イメージ(二次医療→三次医療)



【図3】盛岡市域の医療施設連絡距離(二次→三次の平均アクセス距離)



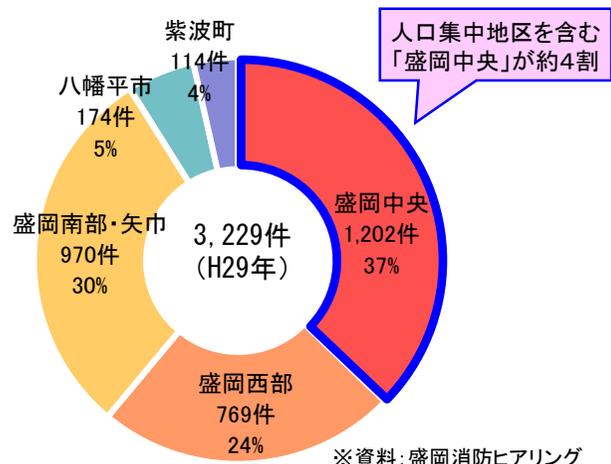
【図4】国道4号における急ブレーキの発生率



※ETC2.0より算出 (H30.9-11)  
 ※前後加速度-0.25G以下を対象に集計  
 ※国道4号上り方向



【図1】高度救命救急センターへの搬送実績(出動元)



人口集中地区を含む「盛岡中央」が約4割

	課題	原因
交通渋滞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象区間の旅行速度低下                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿線の市街化と主に国道4号・46号の交通量が増加</li> <li>・ 交差点も近接して多いため著しい速度低下が発生</li> </ul> </li> <li>○ 主要幹線道路としての機能が低下                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交差点が多いために時間損失が必然的に生じる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿道開発に伴う交通量の増加</li> <li>○ 信号交差点の増加</li> </ul>
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿道出入りが多く、急挙動が多い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交差点に限らず急ブレーキが多発</li> <li>・ 追突事故割合や単路の事故率が高い</li> </ul> </li> <li>○ 主要幹線道路としての安全性が確保された構造となっていない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央分離帯の無い箇所ですら自由に右折が可能</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿道出入り車両が多い</li> <li>○ 右折レーン・中央分離帯未設置区間での安全性低下</li> </ul>
物流効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物流を支える幹線道路が不足                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型車の増加、効率的な物流を支える交通ネットワークが必要</li> </ul> </li> <li>○ 物流拠点へのアクセスルートが脆弱                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物流拠点を発着する大型車の7割が一般道を利用</li> <li>・ 国道4号は通過交通も多くトリップ長が長い</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物流拠点の形成による大型車需要の増加</li> <li>○ 国道4号利用交通輻輳</li> </ul>
救急搬送	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第三次救急医療施設へのアクセスに時間がかかる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移転により、二次医療施設からの平均アクセス距離が約3.7倍に増加</li> </ul> </li> <li>○ 患者の負担を軽減する安定した搬送ルートが無い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移転後の搬送において急ブレーキが発生する恐れのある区間を通過</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第三次医療施設の移転</li> <li>○ 移転後の搬送ルートに信号が多い</li> </ul>

政策目標(素案)

主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復

主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保

円滑な物流ルートの確保

第三次医療施設へのアクセス性強化

### **3. 政策目標の設定**

## 3-1. 政策目標の設定

- ◆地域の意見聴取（第1回）の結果から、「主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復」、「主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保」、「円滑な物流ルートの確保」、「安定した搬送ルートの確保」の4項目を政策目標とする。

	交通渋滞	交通事故	物流効率	救急搬送
地域・道路の状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■沿線の市街化と共に国道4号・46号の交通量は増加し、また接続道路の信号交差点化も増加したため、交通処理能力が低下</li> <li>■通常走行時でも交差点が多い為に時間損失が必然的に生じるなど、主要幹線道路としての速達性・定時性が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対象区間は交差点、単路部ともに事故が多く追突事故の発生割合が高い</li> <li>■特に国道4号の中央分離帯未設置区間において、急ブレーキ等の運転挙動が顕著に発生しており事故率も高い区間となっている</li> <li>■右左折による頻繁な沿道との出入り交通の発生に伴い主要幹線道路としての安全機能が低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対象地域は岩手県を代表する物流拠点の基地となっており、中でも対象区間の周辺5km圏に県全体の25%のトラック車両が登録されている</li> <li>■対象地域の大型車発生集中交通量も近年10年間で約3～7割増加しており、物流基地として益々成長している状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第三次医療への搬送距離が移転後に拡大するほか、搬送ルートとなる国道4号は信号が多く急ブレーキが発生する恐れのある区間を通過。</li> <li>■救急医療施設アクセス性の改善や、患者の負担を軽減する安定した搬送ルートの確保が課題。</li> </ul>
地域の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>■都市活動を支える幹線道路の整備</li> <li>・バス・自動車・自転車などの車両の円滑な走行空間や、安全な歩行空間の確保など、交通環境の改善を図るための幹線道路の整備を推進。交通事故多発箇所等の把握と重点的な対策の実施を図ります。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【(盛岡市)総合計画】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■交流・連携や物流の基盤となる道路整備の推進</li> <li>・物流の効率化により産業の振興を支援するため、企業のニーズ等を踏まえた物流の基盤となる道路の整備を推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">【(岩手県)いわて県民計画】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安心して医療が受けられる環境づくり</li> <li>・盛岡広域医療圏を構成する医師会及び各市町、関係機関と連携し、ニーズに対応した医療体制の確保を図るとともに、かかりつけ医の定着に向けた広報活動に努めます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【(矢巾町)第7次矢巾町総合計画】</p>	
住民や事業者への意見聴取結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民、事業者ともに約9割が課題と認識</li> <li>◆「信号の多さ」、「沿道出入りの多さ」、「右折車に起因する渋滞」に関する意見等が多数寄せられた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民の約4割、事業者の約5割が課題と認識 (利用頻度の高い住民の約5割、運送・運搬事業者の約6割)</li> <li>◆「沿道出入りの多さ」、「中央分離帯や右折レーンが無いことによる危険性」に関する意見等が寄せられた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民の約5割、事業者の約6割が課題と認識 (利用頻度の高い住民の約5割、運送・運搬事業者の約7割)</li> <li>◆「物流拠点へのアクセス性の悪さ」、「物流効率を考慮した道路整備の必要性」に関する意見等が寄せられた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民、事業者ともに約5割が課題と認識 (利用頻度の高い住民の約6割、運送・運搬事業者の約5割)</li> <li>◆「搬送経路(国道4号)での渋滞」、「救急搬送の速達性」に関する意見等が寄せられた</li> </ul>

政策目標

1. 主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復

2. 主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保

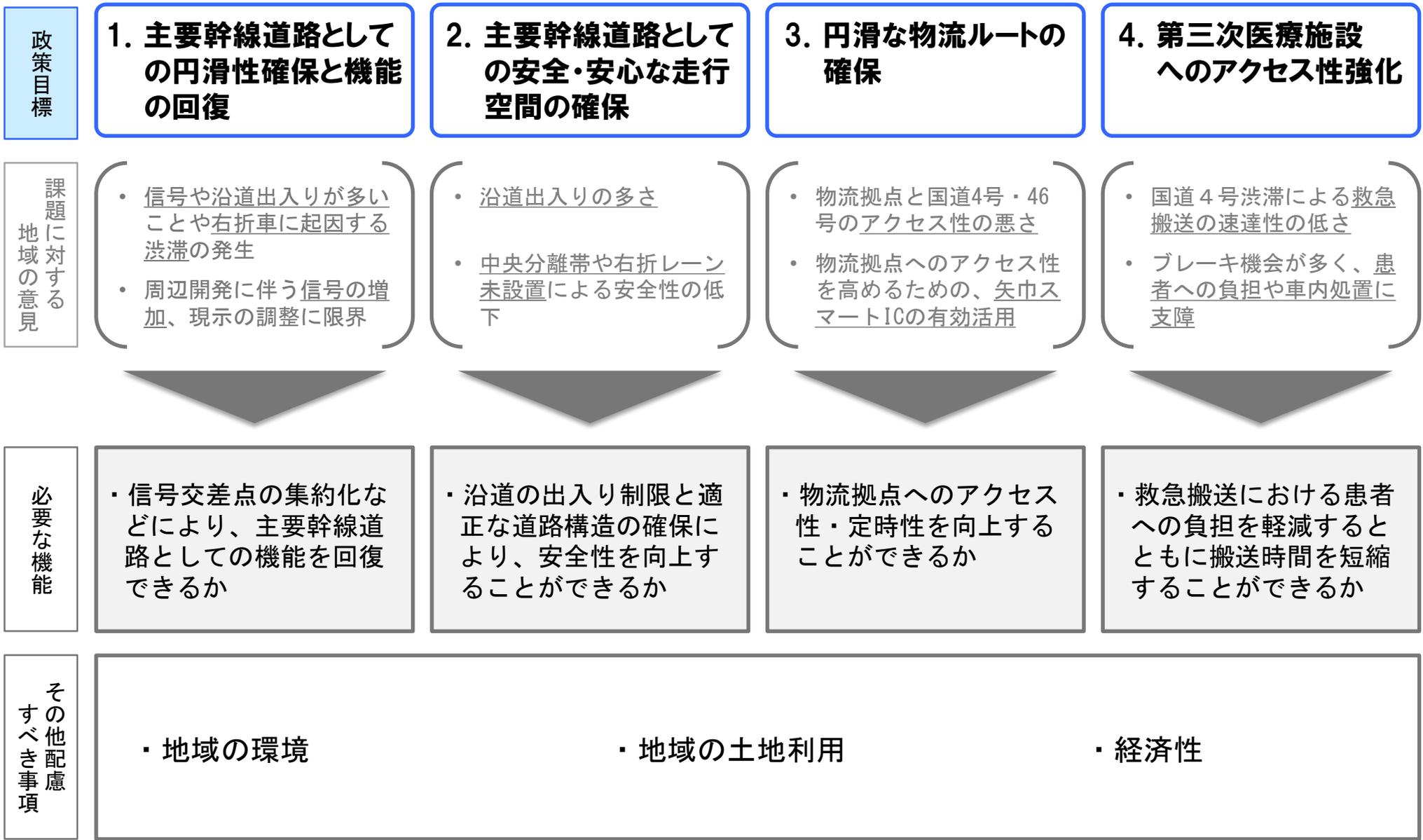
3. 円滑な物流ルートの確保

4. 第三次医療施設へのアクセス性強化

## 4. 対応方針(ルート帯案)の検討

# 4-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

◆地域の意見聴取(第1回)の結果から、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を以下に整理した。



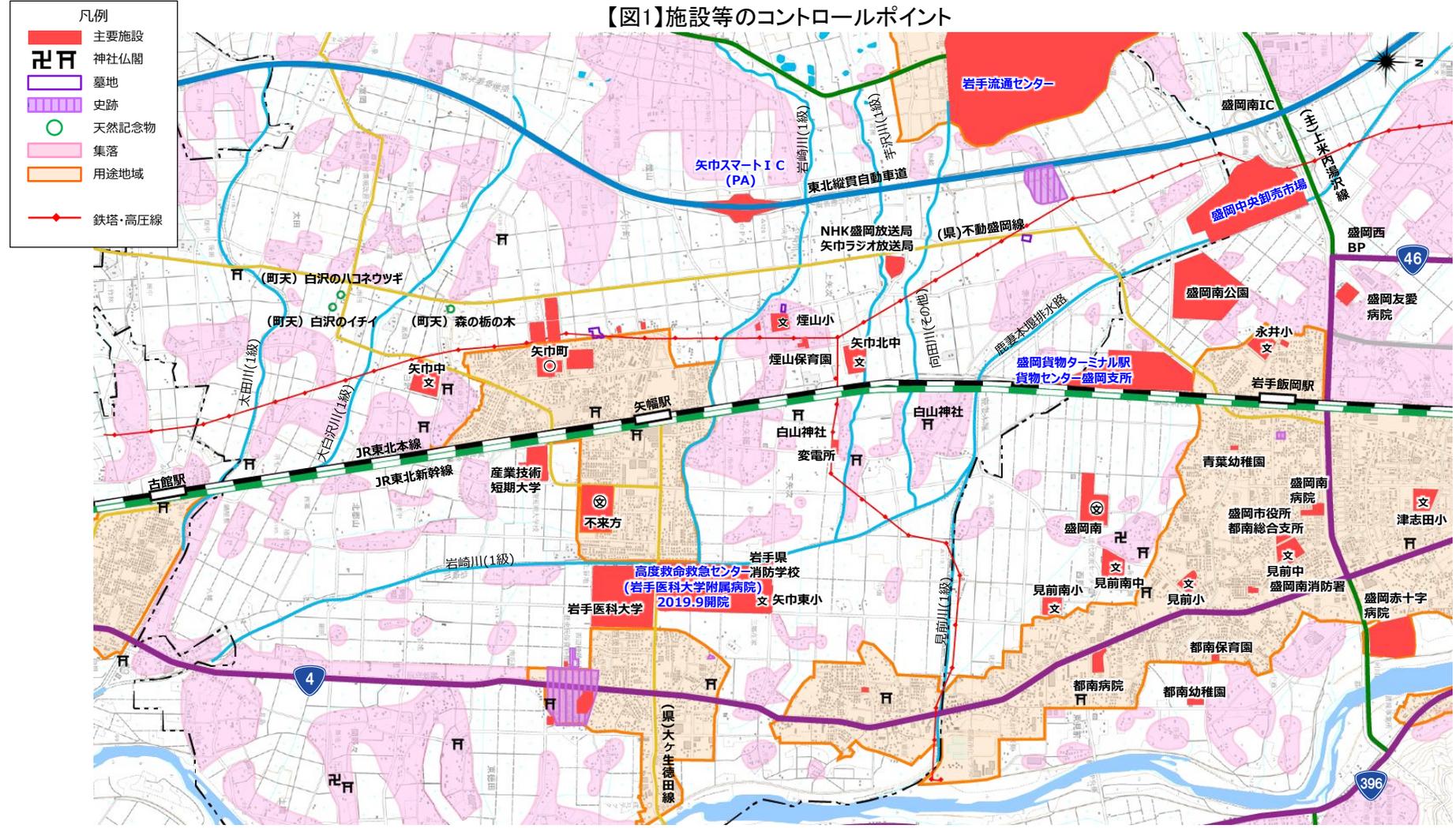
# 4-2. 対策案のコントロールポイントの考え方(施設等)

◆対策案のコントロールポイントとしては、施設等（集落等）、その他事項（貴重な動植物等）を設定し、物流施設へのアクセスに配慮。

コントロールポイント	施設等	◆病院	◆学校	◆変電所、送電鉄塔	◆工業団地、工場	◆集落
		◆河川	◆鉄道	◆東北自動車道	◆公園、史跡、神社、仏閣	

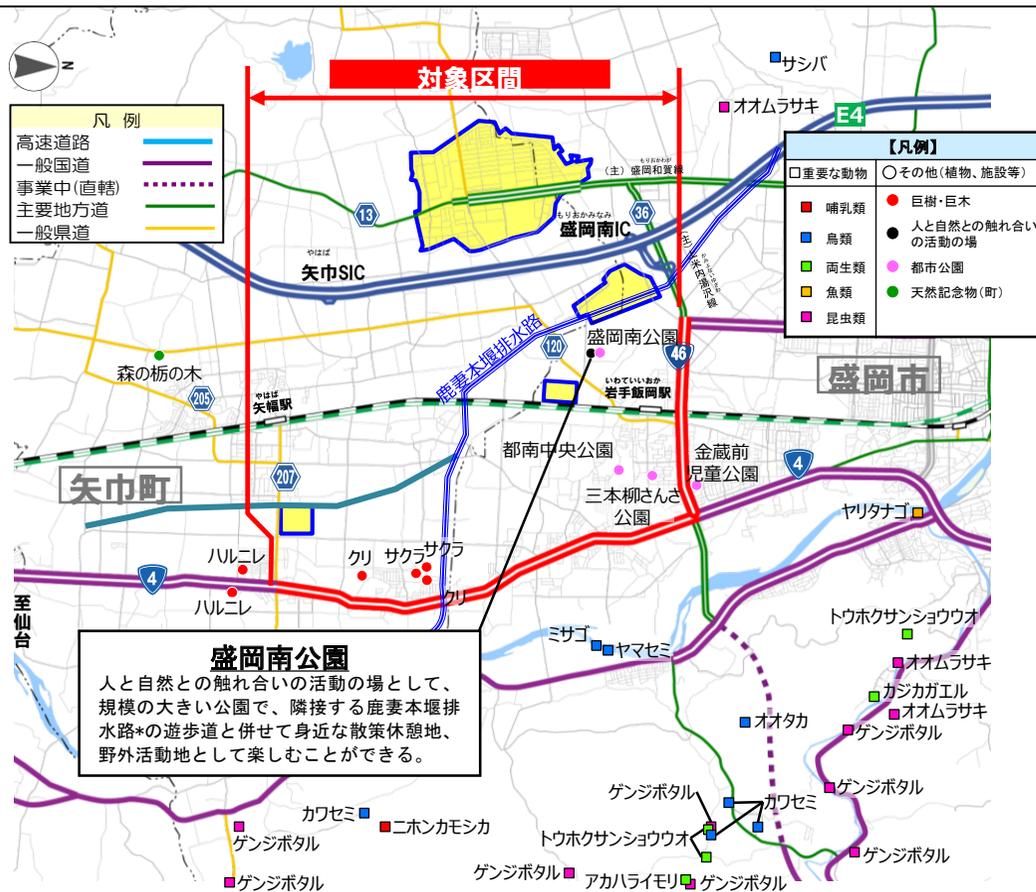
※コントロールポイントとは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点や、社会的影響が大きく回避すべき建物等

【図1】施設等のコントロールポイント



# 4-2. 対策案のコントロールポイントの考え方(その他事項)

◆既存文献では、対象区間にはクリ、サクラなどの巨木は確認されているが、重要な動植物の生息は確認されていない。



※鹿妻本堰排水路: 400年以上前に作られた農業用の用水路で、現在も周辺地域の農業用水の確保に役立てられている。

- 【重要な種の選定基準】**
- 環: 環境省レッドリスト2019 (平成31年 環境省)  
CR: 絶滅危惧 I A類、EN: 絶滅危惧 I B類、  
VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧種、DD: 情報不足
  - 県: いわてレッドデータブック (平成26年 岩手県)  
A: Aランク、B: Bランク、C: Cランク、D: Dランク、DD: 情報不足
  - 文化財: 文化財保護法 (平成31年 環境省)
  - 種保存: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成4年 法律第75号)

## 動物

対象区間周辺で生息の可能性がある重要な動物種は以下のとおりである。

哺乳類	ヒナコウモリ(県B)、ツキノワグマ(種保存: 国際希少野生動植物種, 県D)、ニホンカモシカ(文化財: 特別天然記念物, 県D)
鳥類	ミサゴ(環NT, 県B)、オオタカ(環NT, 県B)、サシバ(環VU, 県B)、ノスリ(県D)、カワセミ(県D)、ヤマセミ(県D)、チゴハヤブサ(県D)、チョウゲンボウ(県D)、ノビタキ(県C)
両生類	トウホクサンショウウオ(環NT, 県C)、アカハライモリ(環NT)、トウキョウダルマガエル(環NT, 県D)、カジカガエル(県D)
魚類	スナヤツメ類(環VU, 県C)、ヤリタナゴ(環NT, 県DD)、タナゴ(環EN, 県D)、エゾウグイ(環LP, 県C)、カマツカ(県DD)、ドジョウ(環DD)、ギバチ(環VU)、サクラマス(ヤマメ)(環NT)、カジカ(環NT, 県C)
昆虫類	モートンイトトンボ(環NT, 県D)、アオハダトンボ(環NT)、ミヤマチャバネセセリ(県C)、ゴマダラチョウ本土亜種(県D)、ゴジャノメ(県D)、オオムラサキ(環NT, 県C)、ゲンゴロウ(環VU, 県C)、ゲンジボタル(県D)
底生動物	モノアラガイ(環NT)、ヤマトシジミ(環NT)、マシジミ(環VU, 県B)、フライソアミメカワゲラ(環NT)



チゴハヤブサ(県D)



オオタカ(環NT, 県B)

写真の出典: 「いわてレッドデータブック岩手の希少な野生生物web版」

## 植物

対象区間周辺で生息の可能性がある重要な植物種は以下のとおりである。

植物	サクラタデ(県C)、タコノアシ(環NT, 県B)、ナガボノワレモコウ(県B)、ミズオオバコ(環VU, 県B)
----	--

※出典: 「第2~6回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(環境省自然環境局 生物多様性センター) 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014年版)」(平成26年、岩手県) 「盛岡市域の自然環境調査報告書」(平成8年3月、盛岡市市民生活部生活環境課)





## 4-4. 評価項目の設定

- ◆政策目標を達成するために求められる機能について整理し、評価項目を設定した。
- ◆配慮すべき事項については、既存文献を参考に評価項目を設定した。

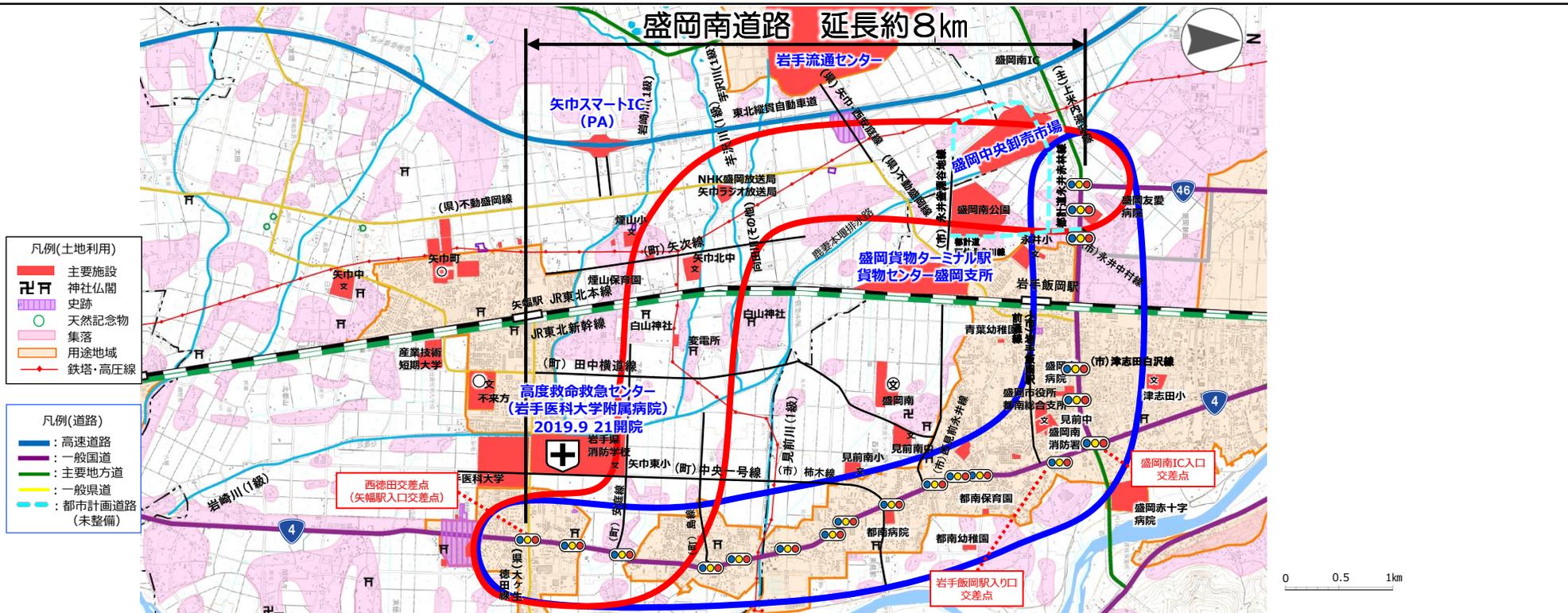
【表1】評価項目の設定

課題	政策目標	求められる機能	評価項目
交通混雑	主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復	信号交差点の集約化などにより、主要幹線道路としての機能を回復できるか	信号交差点の集約化
交通事故	主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保により、安全性を向上することができるか	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保
物流効率	円滑な物流ルート確保	物流拠点へのアクセス性・定時性を向上することができるか	物流拠点までのアクセス性・定時性の向上
救急搬送	第3次医療施設へのアクセス強化	救急搬送における患者への負担を軽減するとともに搬送時間を短縮することができるか	患者への負担軽減、搬送時間短縮

【表2】配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
地域の土地利用・環境	・土地利用や自然環境や生活環境への影響
周辺施設への影響	・沿線家屋等への影響
経済性	・事業費

# 4-5. 対策案の比較



対策案の考え方		【案①】 バイパス案	【案②】 現道再整備案
区間延長		約8km	約8km
政策目標	主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復	信号交差点の集約化	新たに整備するバイパスは、信号交差点を集約した道路を計画
	主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保	バイパス整備するには、沿道との出入りをコントロールし、適切な道路構造により、安全・安心な走行空間を確保
	円滑な物流ルートの確保	物流拠点までのアクセス性・定時性の確保	バイパス整備により、国道4号と物流拠点とのアクセスルートが確保され、主要幹線道路としての機能分担が図られることから、アクセス性・定時性が確保 さらに矢巾SICへのアクセス性も向上
	安定した搬送ルートの確保	患者への負担軽減、搬送時間短縮	バイパス整備により、患者への負担が軽減された安定した搬送ルートが確保され、搬送時間も短縮
配慮すべき事項	生活環境への影響	現道沿道環境(騒音・振動)の改善	バイパス整備により、交通量がバイパスに転換することで、現道の沿道環境が改善
	土地利用や自然環境への影響	土地利用や自然環境への配慮	耕作地に道路の盛土が築造されるため、現在の土地利用が改変される 既往文献では、ルート帯に重要な動植物は確認されていない
	周辺施設への影響	影響する家屋数	支障家屋が約50件となり案②に比べ周辺土地利用への影響は少ない
経済性	事業費*	約330億円~約380億円	約360億円~約410億円

\*現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

## **5. 地域の意見聴取(第2回)の方法**

## 5-1. 地域の意見聴取（第2回）の内容

◆地域の意見聴取（第2回）の内容は、地域や道路交通の課題を解消するために示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目に関する質問を設定。

### 1. 地域の意見聴取（第2回）の内容

意見聴取の項目	把握する意見	回答方法	備考
①属性	性別、第1回アンケートの回答、職業	単一選択	第1回と同様の意見聴取項目
	年齢、住所	記述式	
②国道4号の道路利用状況	主な利用頻度	単一選択	第1回と同様の意見聴取項目
	主な利用手段	単一選択	
	主な利用目的	単一選択	
	主な目的地	記述式	
③ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目	どのようなことに重視して計画をすべきか	複数選択	第2回意見聴取項目
	その他に重視すべき事項は	記述式	
④重視すべき理由等	③で回答した項目に対する具体的意見	記述式	第2回意見聴取項目

## 5-2. 地域の意見聴取(第2回)の対象者と方法

### 2. 地域の意見聴取(第2回)の対象(案)

#### ・アンケートによる意見聴取

調査対象	対象地域	調査手法	規模
地域住民	盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町	盛岡市(盛岡駅以南地区) : 郵送配布・郵送回収 矢巾町・紫波町 : 広報誌添付による配布・郵送回収	85,859部 (全戸配布)
道路利用者	盛岡広域圏※1	留置アンケート※2 (県庁、市役所、役場、道の駅に配置)	(20箇所)
		Webアンケート(岩手河川国道HP)	—
事業者	盛岡市、矢巾町、紫波町の事業所、花巻市、北上市、金ケ崎町の国道4号沿線の自動車関連企業	郵送配布・郵送回収	524事業所

※1: 沿線地域: 盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町・紫波町・矢巾町

#### ・ヒアリング調査の対象

項目			
関係団体 (計19事業所)	○自治体【8自治体】 ○バス協会【1団体】 ○農業協同組合【1団体】	○観光協会【2団体】 ○経済団体【2団体】 ○医療機関【1機関】	○警察機関【2団体】 ○トラック協会【1団体】 ○消防機関【1団体】

【図1】アンケート調査票の配布範囲



【凡例】	
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	アンケート配布地域(地域住民): 盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町
<span style="background-color: lightgreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	アンケート配布地域(事業者等): 盛岡市(盛岡駅以南地区)、矢巾町、紫波町、花巻市、北上市、金ケ崎町
<span style="background-color: lightgrey; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	留置アンケート実施地域: 岩手県・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町

### 3. 地域への意向調査の周知方法

項目	
新聞広告	岩手県で発行部数の多い新聞(岩手日報)にアンケートへの協力を呼びかける広告を掲載
ホームページ	国土交通省岩手河川国道事務所、岩手県、盛岡市、矢巾町、紫波町のホームページにアンケート調査を案内
地域への情報提供	以下の場所にアンケートブース設置 行政機関: 岩手河川国道事務所、岩手県本庁舎、盛岡市役所(2支所含む)、八幡平市役所(3支所含む)、滝沢市役所場、雫石町役場、葛巻町役場、岩手町役場、紫波町役場、矢巾町役場 道の駅: にしね、雫石あねっこ、石神の丘、くずまき高原、紫波

### 4. 意見聴取期間

2019年●月●日～  
●月●日(約1ヶ月間)

### 5. 実施主体

国土交通省、岩手県、盛岡市、  
矢巾町、紫波町

## 5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

## 1 ページ : 調査概要

## 国道4号(盛岡南地区)における 道路計画検討に関する【第2回】

住民用

国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している主要幹線道路です。  
 本アンケートは、その一部を担っている「盛岡南地区」の道路整備の計画検討にあたり、皆さまのご意見をお聞きするための調査です。  
 意見聴取は全部で2回行い、第1回意見聴取（平成30年～平成31年1月実施済）では地域の皆様が日頃感じている道路交通や地域の課題等についてご意見をお聞きしました。  
 今回（第2回）は、国道4号（盛岡南地区）の対策案を検討するにあたり、重視すべき事項についてご意見をお聞きしたく、ご協力をお願いします。

※本調査で頂いた皆さまからのご意見は、計画段階評価において地域からの意見として「社会資本整備審議会道路分科会 東北地方小委員会」に報告いたします。

**アンケート**

①地域の現状と課題  
 ②道路交通の現状と課題  
 ③政策目標(案)の設定  
 ④意見聴取方法  
 ⑤計画段階評価の手続きの進め方

**今回 アンケート**

①意見聴取結果の確認  
 ②対応方針案(ルート帯案)の検討  
 ③意見聴取方法

①意見聴取結果の確認  
 ②地域意見を踏まえたルート帯の設定  
 ③対応方針のまとめ

**対応方針  
決定**

凡例

高速道路	4車以上	—
一般国道	2車	—
事業中(案)	主要決滞箇所	●
主要地方道	死亡事故発生箇所	○
一般県道		—

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所  
 岩手県 盛岡市 矢巾町 紫波町 1

# 5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

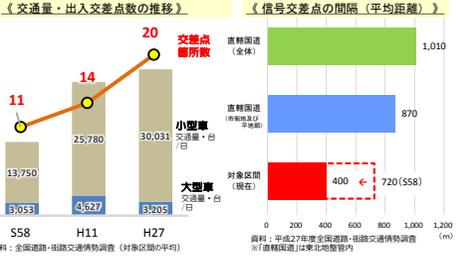
2, 3ページ：地域や道路交通の課題・地域の意見聴取(第1回)の結果について

## 地域・道路の現状と課題

### 1. 交通混雑

【主要幹線道路としての機能低下】

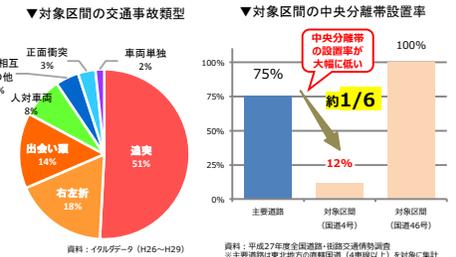
- 沿線の市街化と共に交通量増加、また信号交差点も増加したため、交通処理能力が低下しています。
- 通常走行時でも交差点が多い為に時間損失が必然的に生じるなど、主要幹線道路としての速達性・定時性が失われています。



### 2. 交通事故

【沿道出入りが多く、安全性低下】

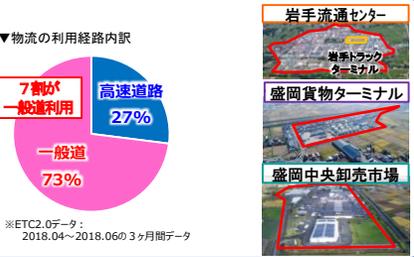
- 対象区間は追突事故の発生割合が高くなっています。
- 特に国道4号の中央分離帯未設置区間での右左折による頻繁な沿道との出入り交通により後続車の急ブレーキが生じるなど、道路の安全機能が低下している事が課題となっています。



### 3. 物流効率

【物流拠点へのアクセス性】

- 対象地域は岩手県を代表する物流拠点です。
- 物流拠点を発着する貨物車の約7割が一般道を利用しているものと考えられ、国道4号は物流ルートとしてのニーズがあります。
- しかし、国道4号は地域内々の利用交通も多く、道路交通の機能分担が適切に図られていないことが課題となっています。



### 4. 救急搬送への影響

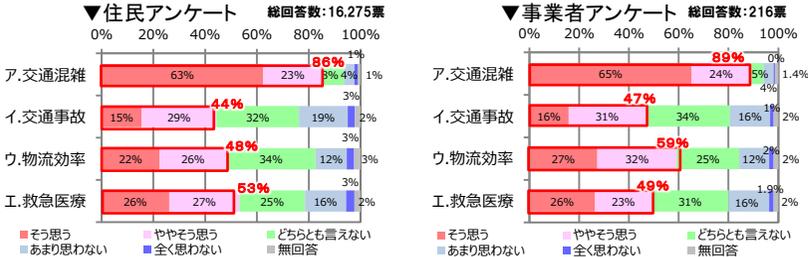
【第三次救急医療施設へのアクセス性】

- 第三次医療への搬送距離が移転後に拡大し、搬送ルートとなる国道4号の対象区間では、信号が多く急ブレーキも多い区間となっています。
- 救急医療施設へのアクセス性の改善や、患者の負担を軽減する安定した搬送ルートの確保が課題となっています。



## 第1回アンケート概要

○地域の課題に対する認識について

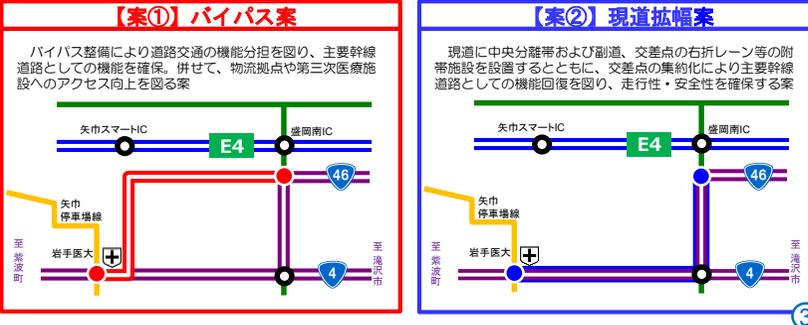


- ◆信号が多い、右折レーンがない【交通渋滞】
- ◆中央分離帯や右折レーンの整備がされていない【交通事故】
- ◆信号が多く混雑した区間を通ることになる
- ◆沿道からの出入りが多い【交通渋滞】
- ◆国道4号と物流拠点のアクセスが悪い【物流効率】
- ◆【救急搬送】
- ◆沿道からの出入り車両により急ブレーキをかけたことがある【交通事故】
- ◆盛岡南ICや矢市ICまで遠い【物流効率】
- ◆沿道の騒音・振動を減らしてほしい【その他】
- ◆渋滞しているため救急車に道をあけられない【救急搬送】

## 評価項目の選定

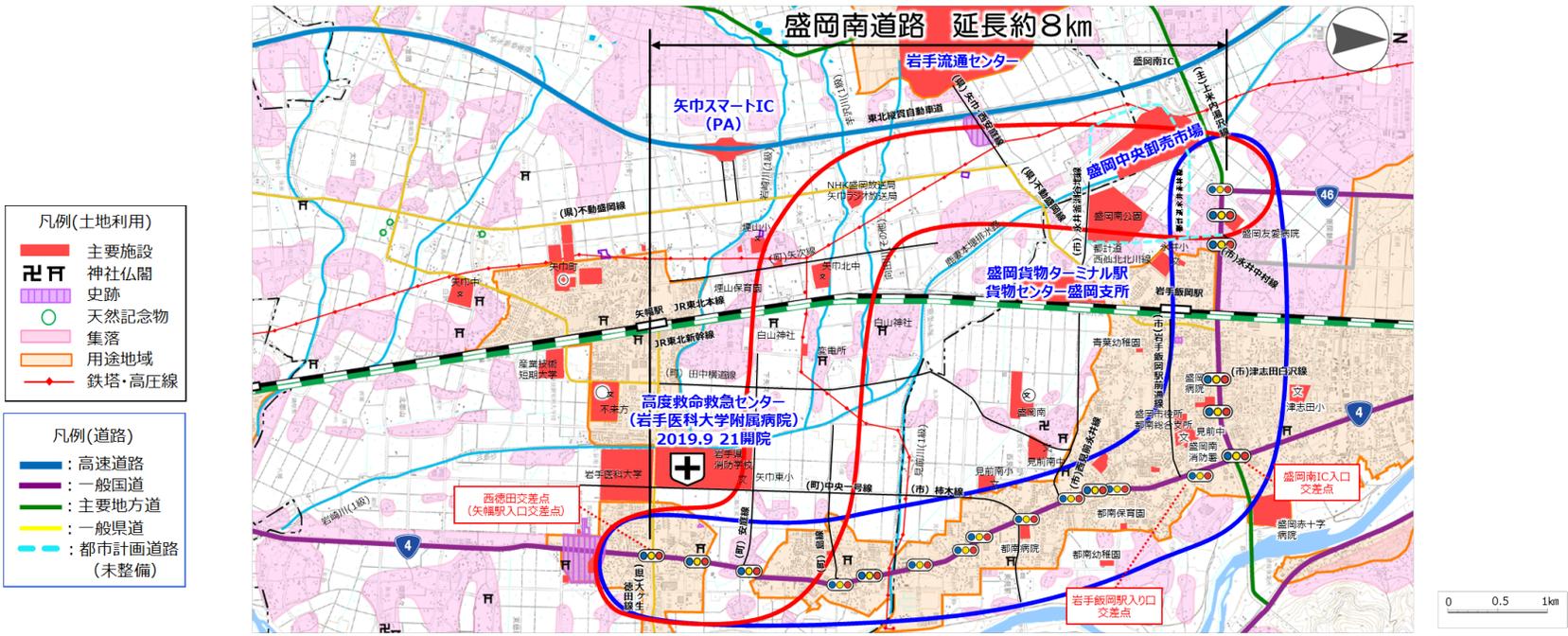
課題	政策目標	求められる機能	評価項目
交通混雑	主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復	信号交差点の集約化などにより、主要幹線道路としての機能を回復できるか	信号交差点の集約化
交通事故	主要幹線道路としての安全、安心な走行空間の確保	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保により、安全性を向上することができるか	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保
物流効率	円滑な物流ルートの確保	物流拠点へのアクセス性・定時性を向上することができるか	物流拠点までのアクセス性・定時性の向上
救急搬送	第3次医療施設へのアクセス性強化	救急搬送における患者への負担を軽減するとともに搬送時間を短縮することができるか	患者への負担軽減、搬送時間短縮

## 対応方針案(ルート帯案)の検討



# 5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

## 4, 5ページ: ルート帯案の概要



対策案の考え方		【案①】 バイパス案	【案②】 現道再整備案
		約 8 km	約 8 km
政策目標	主要幹線道路としての円滑性確保と機能の回復	信号交差点の集約化	新たに整備するバイパスは、信号交差点を集約した道路を計画
	主要幹線道路としての安全・安心な走行空間の確保	沿道の出入り制限と適正な道路構造の確保	バイパス整備する際には、沿道との出入りをコントロールし、適切な道路構造により、安全・安心な走行空間を確保
	円滑な物流ルートの確保	物流拠点までのアクセス性・定時性の確保	バイパス整備により、国道4号と物流拠点とのアクセスルートが確保され、主要幹線道路としての機能分担が図られることから、アクセス性・定時性が確保 さらに矢巾SICとのアクセス性も向上
	安定した搬送ルートの確保	患者への負担軽減、搬送時間短縮	バイパス整備により、患者への負担が軽減された安定した搬送ルートが確保され、搬送時間も短縮
配慮すべき事項	生活環境への影響	現道沿道環境（騒音・振動）の改善	バイパス整備により、交通量がバイパスに転換することで、現道の沿道環境が改善
	土地利用や自然環境への影響	土地利用や自然環境への配慮	耕作地に道路の盛土が築造されるため、現在の土地利用が改変される 既往文献では、ルート帯に重要な動植物は確認されていない
	周辺施設への影響	影響する家屋数	支障家屋が約 50 件となり案②に比べ周辺土地利用への影響は少ない
④ 経済性	事業費※	約 330 億円～約 380 億円	約 360 億円～約 410 億円

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

